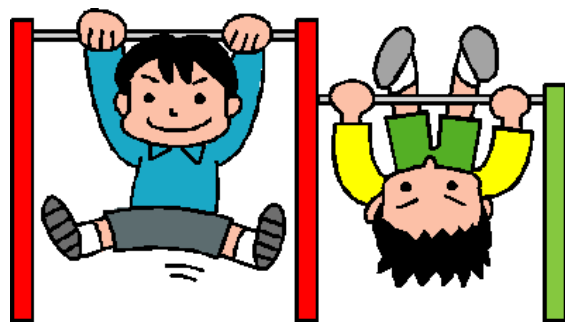


地域で広がる 子どもたちの未来②



平成24年度 とちぎ放課後子ども教室推進事業 実践事例集

栃木県教育委員会

はじめに

文部科学省の事業である「放課後子ども教室」は、平成19年度の開始以来、今年度で6年目となりました。今年度の全国的な実施状況を見ますと、実施市町村数は、1076市町村、実施箇所数は10098箇所にのぼっており、年々増加しております。県内では、国の補助事業である「放課後子ども教室推進事業」を活用した教室が9市町に80箇所、市や町が単独で実施している教室が136箇所あります。地域の教育力の低下が指摘される中で、放課後子ども教室は地域の中で子どもたちが安心して活動できる場となっており、今後も全県的に推進して参りたいと考えております。

平成25年1月には、「今後の青少年の体験活動の推進について」という答申が、中央教育審議会から出されました。この中では、「体験活動は人づくりの“原点”であるとの認識の下、未来の社会を担う全ての青少年に、人間的成長に不可欠な体験を経験させるためには、教育活動の一環として、体験活動の機会を意図的・計画的に創出することが求められている」と述べられています。さらに、「青少年の体験活動の推進のためには、学校教育と社会教育の連携強化による体験活動の充実を図ることが不可欠」である、としております。考えてみますと、放課後子ども教室は、まさに、学校教育と社会教育の連携の場であり、青少年の人間的成長に必要な様々な体験活動の機会を与える場であります。

本事例集には、放課後子ども教室をはじめとした子どもの居場所づくりに関する様々な取組が掲載されています。それらの取組の中では、昔あそびや料理、スポーツ等の生活・文化体験活動、ハイキングや昆虫採集等の自然体験活動、ボランティア等の社会体験活動など、多種多様な体験活動が実施され、自立心や、主体性、協調性、責任感等の様々な力を子どもたちに育てています。また、そうした様々な体験活動を実施する中で、子ども同士、大人同士、子どもと大人、そして幅広い年代の人々の交流が行われています。そうした交流の中から地域の絆が生まれ、よりよい地域づくりの第一歩にもなっております。本事例集が、そうした取組をさらに充実させていく一助になれば幸いです。

最後に、本事業の推進に御尽力いただいているボランティアの皆様、各市町教育委員会関係者の皆様をはじめ、御協力いただいているすべての皆様に心から感謝申し上げます。

平成25年3月

栃木県教育委員会事務局生涯学習課長 村山 二郎

目次

はじめに

放課後子ども教室から始まる地域の絆づくり P 1

放課後子ども教室とは？ P 2

より良い活動を行うために

～子どもの活動に関わる大人に求められるもの～ P 3

放課後子ども教室における安全管理について P 4

放課後子ども教室の取組

1 上戸祭宮っ子ステーション【宇都宮市】 P 7

2 五代宮っ子ステーション【宇都宮市】 P 8

3 田原西宮っ子ステーション【宇都宮市】 P 9

4 本郷北放課後子ども教室【上三川町】 P 10

5 学びステーション鹿沼【鹿沼市】 P 11

6 大沢地区放課後子ども教室【日光市】 P 12

7 三依地区放課後子ども教室【日光市】 P 13

8 湯西川地区放課後子ども教室【日光市】 P 14

9 間小っ子ふれあいひろば【小山市】 P 15

10 乙女っ子なかよし広場【小山市】 P 16

11 押小っ子ふれあいスクール【さくら市】 P 17

12 喜小っ子ふれあいスクール【さくら市】 P 18

13 奥沢小放課後子ども教室【大田原市】 P 19

14 羽田小放課後子ども教室【大田原市】 P 20

15 いきいき何でも体験クラブ【佐野市】 P 21

16 久野・筑波子ども教室【足利市】 P 22

地域における子ども居場所づくりの取組

- | | | |
|----|---------------------------------|------|
| 17 | ふれあい広場【真岡市】 | P 25 |
| 18 | 熊倉一区ふれあい交流活動【真岡市】 | P 26 |
| 19 | 高勢町子ども育成活動【真岡市】 | P 27 |
| 20 | 西小WS（塙・星の宮の宝を育てる会）【益子町】 | P 28 |
| 21 | 藤井小学校 放課後子ども教室&壬生町子ども遊び学び塾【壬生町】 | P 29 |
| 22 | 石橋子どもクラブ料理教室【下野市】 | P 30 |
| 23 | ゴーゴー学び塾【下野市】 | P 31 |
| 24 | ガッテン！科学の芽！【下野市】 | P 32 |
| 25 | 大宮公民館 のびのび体験ひろば【栃木市】 | P 33 |
| 26 | 豊田っ子ふれあいスクール【矢板市】 | P 34 |
| 27 | ウィークエンド・サークル活動【塩谷町】 | P 35 |
| 28 | 土屋はかせ塾【高根沢町】 | P 36 |
| 29 | 若鮎クラブ【那須烏山市】 | P 37 |
| 30 | 親子ふれあい塾【那須町】 | P 38 |
| 31 | わくわくときどきクラブ【那須塩原市】 | P 39 |
| 32 | やばっこ 学びの巣【足利市】 | P 40 |

平成24年度放課後子ども教室推進事業の

効果及び成果に関する調査結果について P 43

栃木県生涯学習ボランティアセンターについて

放課後子ども教室から始まる地域の絆づくり

宇都宮大学教育学部 教授

栃木県放課後子どもプラン推進委員会 委員長 陣内 雄次

放課後子ども教室は、地域の方々の参画を得ながら、放課後や週末等に、子どもたちが安全で安心して活動できる居場所を設け、子どもたちに勉強やスポーツ・文化活動、様々な体験活動、地域住民との交流活動等の機会を提供するものです。平成19年度の事業開始以来、6年が経過し、それぞれの教室では地域の人材、自然、施設などといった地域資源をうまく活用しながら、特色ある活動が展開されるようになってきています。このように事業が着実に定着してきたことを考えると、今後は、放課後子ども教室で培ったものを活かしながら、活動を地域づくりに広げていくことが求められていると思います。

放課後子ども教室に関わる際に、私達は自分の住んでいる地域をどんな地域にしたいか、その将来像を思い描いて参加しているのでしょうか。また、一緒に活動する仲間、その将来像は共有されているのでしょうか。その将来像をしっかりと共有していれば、子どもたちにどんな活動をさせ、何を感じてもらい、どのようなことを身に付けさせたいのか、自ずから見えてくると思います。そして、こうした考えを子どもたちにもしっかりと示して活動をすることで、さらに魅力ある教室になるのではないかと考えます。

また、放課後子ども教室は、子どもの学びや体験の場となるだけではなく、そこに関わる大人自身が、活動をとおして自ら学び成長できる場でもあります。活動に参加している大人たちが、楽しく、やりがいを感じながら、いきいきと活動することが大切です。さらに、そのやりがいや楽しさをしっかりと発信していくことで、より多くの人々が活動に参加したいと思えるようになるでしょう。ある市の教室では、保護者に年に1～2回は教室の活動に参加してもらっているそうです。こうした工夫や、教室通信等の発行、HPの充実等をとおして、教室に関わることの魅力をPRしていくような取組が必要です。学校等と連携しながら、PTAや保護者、地域の人々にこうした魅力をどんどん発信していきましょう。

放課後子ども教室は、子どもの居場所でもあり大人の居場所でもあります。教室に集う子どもから大人までが、一緒に活動することで絆を強くし、やがて自分たちの住む地域をよりよいものにしていこうと力を合わせる。放課後子ども教室から生まれた絆が、よりよい地域づくりに広がっていく。そういう放課後子ども教室になることを願っています。

放課後子ども教室とは？

目 的

県内の小学校区において、放課後や週末等に、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するものです。

実 施 体 制

< 県 >

○とちぎ放課後子どもプラン推進委員会（年2回）

県内の総合的な放課後対策の在り方を検討。

○放課後子どもプラン指導者研修

放課後子どもプランにかかわる指導者の資質向上及び各市町における円滑な取組が促進されるよう、事業推進に向けた担当者等の意見交換・情報共有を図る。



< 市町村 >

○運営委員会の設置

放課後子ども教室の活動内容や運営方法等を検討。

○コーディネーターの配置

○放課後子ども教室の実施

放課後子ども教室



子ども⇔子ども
↑↓
大人⇔大人

学習活動

宿題、予習
・復習など

体験活動

文化芸術活動
スポーツなど

交流活動

昔遊び
農業体験など



子ども⇔子ども
↑↓
大人⇔大人

学習アドバイザー

安全管理員

活動ボランティア

参加・協力

地 域 住 民

※栃木県では、放課後子ども教室の活動を「ふれあい学習」として推進しています。

「ふれあい学習」・・・家庭や地域の教育力の向上を図りながら、地域の様々な人々がこれまで培ってきた経験や技術を生かし合いながら、子ども同士、大人同士、子どもと大人、そして幅広い年代の人々がおこなう交流活動、体験活動、学習活動を「ふれあい学習」として全県的に推進している。



より良い活動を行うために



～子どもの活動に関わる大人に求められるもの～

☆活動の意義を理解しよう

子どもの居場所づくりは、子どもの安全・安心な活動場所を提供するだけでなく、子どもが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境を学校・家庭・地域が連携して整備していくものです。それぞれの活動は、**子どものためであり、地域のため、そして自分自身のためであることを認識しましょう。**

☆子どもを理解しよう

活動の中で関わる子どもたちにはいろいろな子がいます。活発な子ども、お話好きな子ども、ものづくりが得意な子ども、お友だちに優しい子ども…。それぞれ得意なこともあれば、苦手なこともあります。**子どもたちの発達や性格には個人差があることを理解しましょう。**



また、子どもの目線に立ち、上手に相づちを打ったり質問したりしながら子どもの話にきちんと耳を傾けたり、上手にほめて子どもたちの意欲を高めて長所を伸ばしたりするなど、**子どもを理解する姿勢を持つことも大切です。**

☆人のつながりをつくろう



活動には子ども、コーディネーター、地域のボランティア、指導者、教員、保護者など、様々な人がかかわります。**同じ活動をしていても、それぞれの経験や立場、環境等によって、ものの見方、とらえ方、感じ方が違います。**「つながり」とは、見方の異なる人たちが一緒にやっていくことです。情報交換の場を設けたり、交流イベントを行う等でコミュニケーションを図ったりすることで、**互いの信頼関係を築きましょう。**

☆地域・学校を理解しよう

活動場所となる地域や学校を理解することは大切です。地域にはどのような人がいるのか、どんな行事を行っているのか、施設、自然、伝統文化などの地域資源にはどのようなものがあるのか等、**アンテナを高くして地域を理解することで活動を充実させることができます。**

また、学校で活動する場合には、先生との情報交換をよく行い、**子どもたちへの対応、先生の動き、学校のニーズ等について理解を深めましょう。**



☆人権を守る意識を持とう

様々な人々と関わる者として、豊かな人権感覚を身につけていることは大切です。相手が不快に感じるような言い方をしていないか、相手の環境や状況に配慮した話をしているか、関わる人々に公平に接することができるか等、**子どもだけでなく、活動仲間や保護者等の大人の人権にも配慮しましょう。**

☆秘密を守ろう

活動を通して、子どもや保護者、学校、地域の人々等についていろいろな情報を得ますが、その中にはあまり好ましくない話や他人には知られたくないこともあるかもしれません。**知り得た秘密は口外せず、きちんと守りましょう。**



逆に、活動の楽しさや子どもたちの素晴らしさ、学校や地域の称賛すべき取組は積極的にPRしましょう。

☆安全対策をしよう

子どもも大人も、安心して気持ちよく安全に活動していくために、**安全対策・危機管理能力を高めることが必要です。**地域を巻き込んだ学習会の実施や、子どもたちとともにルールブックを作成する等、いざというときに対応できるよう準備をしておきましょう。

放課後子ども教室における安全管理について



子ども達が元気に活動する教室においては、怪我や事故等に対する安全管理対策や、災害時に子ども達の安全を確保することが必要不可欠です。ここでは、各教室ごとの安全管理に必要なポイントについてまとめましたので参考にしてください。

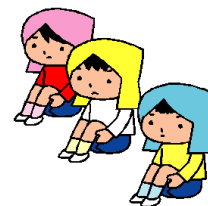
☆安全管理マニュアルを作成しよう

- ・学校では、危険等発生時において当該学校の職員がとるべき措置の具体的内容及び手順を定めた「危険等発生時対処要領」を作成することが、学校保健安全法第29条に定められています。各学校ではこの規定に基づき「災害発生時対応マニュアル」等のマニュアルを定めています。放課後子ども教室においても、学校ごとに定められているそれらを参考に、安全管理等のマニュアルを作成するとよいでしょう。

作成に際しては、文部科学省が作成した「学校防災マニュアル(地震・津波災害)作成の手引き」(文部科学省ホームページからダウンロード可)や、栃木県教育委員会が作成した「学校における防災関係指導資料」(栃木県ホームページからダウンロード可)を参考にしましょう。

- ・放課後子ども教室の運営には多くの地域の方々が参加しています。このことを考慮すると、マニュアルの中心は、安全管理に関する原理原則や要点等を記載した簡潔な内容とし、マニュアルの内容について教室の運営に参加する全ての方が共通理解を図れるようにするとよいでしょう。特に、運営に関わる方々が以下の点について確認できるようにするとよいでしょう。

- ①事前の安全確認の方法 (使用する教室や遊具、活動場所周辺の危険箇所、児童のアレルギー状況等の確認について)
- ②児童の出席確認の方法と、災害発生時等の保護者や関係機関等との連絡方法について
- ③災害等発生時の避難場所の確認と、誘導方法について
- ④災害等発生時の運営スタッフの役割分担について
- ⑤災害等発生時の児童の保護者への受け渡し方法等について



☆避難訓練や防災学習等を実施しよう

- ・放課後子ども教室においても、活動の一環として避難訓練や防災学習を実施するとよいでしょう。また、実施する際には、運営スタッフと学校の連携はもちろん、保護者や地域の方々(自治会や消防団、自主防災組織)等とも連携して実施すると、さらに効果が高まるでしょう。

☆学校との円卓会議(情報交換会)を実施しよう

- ・マニュアルの整備や避難訓練等の実施には、学校との連携が不可欠です。年に何回かは学校との間で、円卓会議(情報交換会)を実施しましょう。また、円卓会議(情報交換会)の実施は、日頃の活動を充実させるのにも有意義です。普段から学校との積極的な情報交換を心がけましょう。



放課後子ども教室の取組



上戸祭宮っ子ステーション【宇都宮市】

実施場所	上戸祭小学校 図工室・校庭等	小学校区	宇都宮市立上戸祭小学校
開催日	週5～7回 平日 15～17時、 休日 10～13時	年間開催日数	234日/年間
参加対象者	1年生～6年生のうち登録児童	参加人数	272人（登録人数） 一回平均40人
安全管理員数	25人	学習アドバイザー数	30人
申込み手続き等	全校児童を対象に会員を募集し、登録者は保険料を負担。月別活動予定表から参加したい教室を選び、担任を通じて参加申込書を提出。参加費無料（ただし活動内容により実費負担有）		

【教室の特徴と活動概要】

- ・「上戸のタマゴ」通称「かみタマ」として放課後及び休日に活動しています。
 - ・平日は原則17時までに保護者がお迎えに来ることとしています。
 - ・子どもの自主性を育むため、子ども企画部（子どもが自ら活動内容を企画）と、3～6年生による新聞部（放課後子ども教室取材し年4回壁新聞を作成）の活動なども行っています。
- <主な活動内容>工作・料理・大正琴・茶道・フラダンス・和太鼓・ひょうたん・習字・英語・スポーツ等

☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

- どんな活動ですか？ お買い物ゲーム「かみタマキッズニア」
- ・お客さんとお店の人に分かれて行う社会体験教室です。紙で作ったお金を使用します！
 - ・お客さんに1000円分の紙のお金を渡しスタート。働いた人には賃金を支払います。
- お店の種類（銀行・スーパー・レストラン・お花屋・工場・警察等）
- 活動に必要な準備物は？
- ・お店の品物を作る為の材料（折り紙・毛糸・紙皿・マジック・新聞紙等）
 - ・買い物かご・紙のお金・財布（新聞紙で作成）

<アドバイス>

紙で作ったお金は10円～100円まで使用しますが、低学年で行う場合はすべて100円で行うとスムーズです。また、おつりの計算に困っていたらスタッフがフォローするとみんなで楽しめます。

子どもに大人気のお買い物ゲーム。かみタマキッズニア



- 活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は？
- ・教室の様子を知ってもらうために、回覧板等でのお知らせや参観日を設け、地域の方々や保護者、周辺の学生（帝京大・星が丘中など）、企業から協力を得ています。
 - ・活動日には、担任や子どもの家（放課後児童クラブ）指導員から参加児童に名札の配布をお願いし、教室に参加しない児童の下校（一人になってしまう場合）については、下校班の再編成をしてもらうなど学校や子どもの家の協力を得ています。
 - ・教室の運営をスムーズに行う為に、学校・子どもの家（指導員）・宮っ子ステーション会長・コーディネーター・安全管理員・子ども企画部などと話し合いを頻繁に行い、年2回の反省会もしています。

★話し合いを多く持ち懇親を深め、皆で楽しんで活動する事が事業を続ける秘訣だと思います。

【問い合わせ先】

宇都宮市教育委員会事務局 生涯学習課 家庭・地域連携グループ
〒320-8540 宇都宮市旭1丁目1-5 TEL:028(632)2674

五代宮っ子ステーション【宇都宮市】

実施場所	五代小学校 音楽室、体育館等	小学校区	宇都宮市立五代小学校
開催日	週4～5回 15～17時	年間開催日数	203日/年間
参加対象者	1年生～6年生のうち登録児童	参加人数	263人（登録人数） 一回平均40人
安全管理員数	15人	学習アドバイザー数	51人
申込み手続き等	全校児童を対象に会員を募集し、登録者は保険料を負担。月別活動予定表から参加したい教室を選び、担任を通じて参加申込書を提出。参加費無料（ただし活動内容により実費負担有）		

【教室の特徴と活動概要】

- ・たのしみクラブの愛称で、主に放課後に活動しています。活動場所の確保は大変ですが、活動を続けていくうちに地域との結びつきが強くなり、数々の地域行事（田植え→草刈→稲刈り→収穫祭、イルミネーション点灯式、夏祭りなど）に参加させていただけるようになりました。また部活動との共催企画なども行い、子ども達に好評です。（野球部と遊ぼう・バスケット体験・サッカー・バレーボール）
- ・学校が全面的に協力してくれ、活動も充実しています。
- ・コーディネーターや安全管理員全員で学校支援ボランティアに登録し、たのしみクラブで参加者が作ったアプリケを使い、全教室分のTVカバー36枚を作成しました。

☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

○どんな活動ですか？ 「アフリカダンス」

- ・シルバー大大学校アフリカダンス部の皆さんと共に、花と緑のフェスティバル（広報うつのみやの表紙に掲載）・ダンスフェスティバル・スポレク祭などのイベントに参加しています。アフリカダンスは自己肯定感を高めると言われおり、踊っている時の子ども達の様子は心も身体も解放されているようです。

○子どもの家（放課後児童クラブ）との連携

- ・活動中の子どもの様子を伝えあったり、問題があった場合は話し合いをしたりしています。クラブだよりなどお互いに交換しながら情報共有を図っています。

○指導者は？

- ・地域のグループ（老人会・シルバー大大学校OB・将棋クラブ等）を中心に、各種出前講座（達人・スポーツ・料理・企業など）を積極的に活用し、活動内容にめりはりをつけるようにしています。

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は？

- ・毎月、活動計画と学校行事との調整をするために打合せをし、学校に負担のかからないようなスケジュールを組むように心がけています。スケジュール表・クラブだよりを教職員・地域の方々に配布し、広く周知をしています。

★教室を続けて行く上で一番大切なものは、

何と言っても全てにおいてコミュニケーションだと思います。

”みんなで楽しむたのしみクラブ”をモットーに
スタッフ全員で楽しく頑張っています。

顔のペインティング・衣装でアフリカンになりきって踊れます。
いやな事忘れちゃう！



【問い合わせ先】

宇都宮市教育委員会事務局 生涯学習課 家庭・地域連携グループ
〒320-8540 宇都宮市旭1丁目1-5 TEL:028(632)2674

田原西宮っ子ステーション【宇都宮市】

実施場所	田原西小学校 ランチルーム等	小学校区	宇都宮市立田原西小学校
開催日	週1回（月または火） 15時～17時	年間開催日数	41日／年間
参加対象者	1年生～6年生のうち登録児童	参加人数	168人（登録人数） 一回平均50人
安全管理員数	18人	学習アドバイザー数	8人
申込み手続き等	全校児童を対象に会員を募集し、登録者は保険料を負担。月別活動予定表から参加したい教室を選び、担任を通じて参加申込書を提出。参加費無料（ただし活動内容により実費負担有）		

【教室の特徴と活動概要】

- ・年度初めは1年間使う自分の出席カードや名札を作り、放課後子ども教室（愛称：田西っ子クラブ）での約束の確認を行います。
- ・季節の行事・スポーツ・工作・手芸・読み聞かせ・お菓子作りなど様々な活動をしています。
- ・子どもの家（放課後児童クラブ）指導員がお休みの日にスタッフとして参加するなど、田西っ子クラブへ協力していただきながら相互理解を図っています。
- ・たくさんの大人の協力が必要な活動内容の時（お団子作り、クッキーデコレーションなど）は、前もってお手紙でボランティアの募集をしています。早めに募集するとボランティアは集まりやすいです。

☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

○どんな活動ですか？ 「ハロウィン」

- ・持参した変身グッズに着替え、職員室へお菓子をもらいに行きました。
- ・ミイラゲーム、あめつかみ、くじ引きなど楽しみました。

○一回の活動の流れは？

- ・出席確認→活動内容の説明→活動
- ・お迎えが来るまで基本的に宿題

○活動に必要な準備物は？

- ・ミイラゲーム（トイレットペーパー）やくじ引き（プレゼントにする学校バザーの残りや頂いた物、Box）の準備（スタッフ）
- ・ハロウィングッズの用意（活動アドバイザー）
- ・変身グッズの用意（児童）
（忘れた児童の為にスタッフも用意しています。）

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は？

- ・先生や地域の方々にお手紙で前もって連絡し、時間が合えば顔を出してもらっています。

★子ども達の笑顔や楽しんでいる姿を見られることが、
放課後子ども教室に関わる一番の楽しみです。

変身グッズ持参で張り切って変身しました。この後お菓子をもらいに職員室へGO！



【問い合わせ先】

宇都宮市教育委員会事務局 生涯学習課 家庭・地域連携グループ
〒320-8540 宇都宮市旭1丁目1-5 TEL:028(632)2674

本郷北放課後子ども教室【上三川町】

実施場所	本郷北コミュニティセンター	小学校区	上三川町立本郷北小学校
開催日	日曜、祝日を除くほぼ毎日	年間開催日数	286日/年間
参加対象者	本郷北小学校 1年生～6年生	参加人数	約30人/1日平均
安全管理員数	9人	学習アドバイザー数	1人
申込み手続き等	自治会広報紙回覧などによる申込み受付。イベント行事は随時募集、申込み。傷害保険加入。		

【教室の特徴と活動概要】

- 1 月曜日から土曜日までの放課後や週末における子供達の居場所づくり
- 2 宿題、読書、将棋、卓球、バトミントン、輪投げなど子ども達の自由な遊び場など、安全な居場所づくりに努めています。



- 3 年に一度、グランドボール、輪投げ、羽子板ピンポンリレー、縄跳びなどのゲーム大会を開催しています。

☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

○どんな活動ですか？

- 1 和太鼓教室 新清流お囃子の練習を保護者、保存会のメンバーと共に年46回ほど開催しています。
- 2 親子体験活動 親子で蕎麦打ち体験

○一回の活動の流れは？

- 1 和太鼓教室 週1回2時間の練習
- 2 親子体験活動 種まき、刈り取り、種落、蕎麦打ち

○活動に必要な準備物は？

- 1 和太鼓教室 大太鼓、小太鼓、鐘、笛、鼓
- 2 親子体験活動 農機具、蕎麦打ち用具一式

○指導者は？

- 1 和太鼓教室 ボランティア2名
- 2 親子体験活動 ボランティア3名

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は？

- 1 和太鼓教室
地域のお囃子保存会のメンバーに協力を頂き実施しています。本郷北小学校の演奏会で発表したり、地域の夏祭りに参加しています。
- 2 親子体験活動
年4回の作業について、地域の農家の方々や地域コミュニティセンター産業部会員の皆様に運営のご協力を頂いております。

※ 親子体験活動では、安全な自転車の乗り方や初期消火活動の実践なども行っています。



【問い合わせ先】 上三川町教育委員会事務局 生涯学習課

〒329-0696 栃木県河内郡上三川町しらさぎ一丁目1番地 TEL:0285(56)9159

学びステーション鹿沼【鹿沼市】

実施場所	千渡自治会館	小学校区	菊沢東小学校・さつきが丘小学校・東小学校
開催日	毎週土曜日	年間開催日数	40日／年間
参加対象者	小学校1年～6年生	参加人数	35名
安全管理員数	2人	学習アドバイザー数	8人
申込み手続き等	電話・メールで受付します。体験料300円 保険800円（年1回）		

【教室の特徴と活動概要】

活動場所は、地域の自治会館を使用しています。部屋も広く、駐車場が土で広くフェンスで周りが囲まれて安全です。千渡地区の自治会への回覧もお願いしています。どこからでも参加できるので、市内の小学生1年から6年生が参加しています。学校が違ったお友達と一緒に体験することで、コミュニケーション力を養うことができます。体験は、地域の大人がボランティアで教えてくださいます。一人ひとりの個性を大切に、自由な発想で体験が出来ます。高校生のボランティアと一緒に体験や遊びの相手をしてくれるので、安心して参加しています。（お昼の様子）



☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

○どんな活動ですか？

- 伝統的な体験活動 お点前・お琴・書道・絵手紙・季節行事
- 環境的な体験活動 牛乳パック工作・ペットボトル流しそうめん
- 食育的な体験活動 農業体験・野菜の植栽・料理
- 運動的な体験活動 グラウンドゴルフ・ドッチボール・卓球
- 夏・冬休み中の活動 夏わくわく体験・クリスマス会
- その他の活動 ねんど工作・パステル画・バルーンアート・まちなか探検

○一回の活動の流れは？

- 10:00 受付後、体験講座を全員参加で開始します。
- 12:00 昼食（愛情弁当を持参）スタッフも一緒です。
- 13:00 自由遊び屋内（卓球・折り紙など）屋外（ドッチボール）
- 14:00 清掃 活動終了

○活動に必要な準備物は？

自分たちで、用意できるものは用意する。また、全員で使うものは、市より購入していただきます。

○指導者は？

スタッフが出来るものは指導します。また、講師の先生は、ボランティアで指導していただきます。

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は？

学校は、子ども達へのお知らせを周知していただきます。3ヶ月に1度配布します。地域の人々が、活動を応援していただきます。声もかけていただきます。

・6年間参加して、色々教えてもらえて良かった。
・お友達と料理が出来て楽しいし、おいしかったです。



【問い合わせ先】

鹿沼市教育委員会事務局 生涯学習課 TEL:0289(63)3498 FAX:0289(63)8325

大沢地区放課後子ども教室【日光市】

実施場所	大沢公民館	小学校区	日光市立大沢小学校
開催日	毎週月・水曜日	年間開催日数	66日/年間
参加対象者	大沢小学校児童	参加人数	20人（登録人数）
安全管理員数	1人	学習アドバイザー数	3人
申込み手続き等	大沢小学校全児童に募集用紙を配布し、抽選により決定。		

【教室の特徴と活動概要】

《活動場所》 大沢公民館図書コーナー・中庭・和室・調理室・体育館・周辺の野山

《一日の流れ》 15:00 指導ボランティアが大沢小学校へ児童を迎えに行く

15:15 参加児童大沢公民館へ 荷物整理 宿題

15:40 活動開始

17:30 活動終了 指導ボランティア帰宅

《活動内容》 野外活動、体育館活動、遊び的体験活動、調理体験活動、季節のイベント、創作活動、伝統文化体験活動

☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆



ジャンボしゃぼん玉作り



茶体験



山登り



たこ焼き



焼き芋



凧づくり

★指導ボランティア会議を開催し、前の学期の反省と今学期の活動内容を話し合っ

★活動に必要な準備物と指導は、その時のボランティアが中心になって行う他、地域のスポーツ指導員、団体の協力をいただきながら進めている。

★年度初めに、参加児童保護者会を開催し、放課後子ども教室のルールを説明、家庭でも話し合っ

【問い合わせ先】

日光市健康福祉部 子育て支援課 TEL:0288(21)5186 FAX:0288(21)5105

〒321-1292 日光市今市本町1番地

三依地区放課後子ども教室【日光市】

実施場所	日光市立三依小学校	小学校区	日光市立三依小学校
開催日	毎週水曜日	年間開催日数	35日／年間
参加対象者	三依小学校児童	参加人数	7人（登録人数）
安全管理員数	1日平均1人	学習アドバイザー数	1日平均2人
申込み手続き等	学校を通じて周知する。地域にも保護者にも子ども教室は認識されている。		

【教室の特徴と活動概要】

三依小学校の全児童7人全員が放課後子ども教室に参加しています。人数は少ないですが、その分団結力が強くて、全員一緒に活動するのが自然になっています。

鬼ごっこやドッチボールで身体を動かしたり、チェスや将棋をして頭を動かしたりと、みんなで楽しんでいます。

ドッチボール大好き！！



☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

○どんな活動ですか？

暖かい時期は鬼ごっこ、雪が降る時期は雪山でのそり遊びがみんなの大好きな活動です。

○一回の活動の流れは？

子ども達が集合すると「今日は〇〇しよう」と活動のアイデアを出すので、みんなでルールを決めて活動開始です。学校中をフルに使って楽しんでいます。

○活動に必要な準備物は？

子ども教室の道具以外にも、学校の備品をお借りして活動しています。

○指導者は？

地域の方々に協力いただいておりますが、子ども達は遊びの天才です。ゲームの難しいルールを覚えて、子ども達が指導者に教えてくれることもありますよ。

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は？

冬場のそり遊びに使う雪山は、地域の方が除雪機を使って学校の校庭に作ってくれています。とてもありがたいですね。



将棋って難しいけど楽しいな♪



そり遊び最高＼(^o^)/

【問い合わせ先】

日光市健康福祉部 子育て支援課 TEL:0288(21)5186 FAX:0288(21)5105
〒321-1292 日光市今市本町1番地

湯西川地区放課後子ども教室【日光市】

実施場所	日光市立湯西川小学校	小学校区	日光市立湯西川小学校
開催日	活動ごとに週1回～4回	年間開催日数	100日/年間
参加対象者	湯西川小学校児童	参加人数	19人（登録人数）
安全管理員数	1日平均1人	学習アドバイザー数	1日平均3人
申込み手続き等	活動ごとに参加児童を募集しています。		

【教室の特徴と活動概要】

活動ごとに指導ボランティアが活動内容を決めているので、工夫された活動が展開されています。

週1回の「語りべ活動」、「スポーツ活動（4月～11月：野球活動 12月～3月：スキー活動）」があり、野球活動は週2回、スキー活動は週4回活動しています。

スキーの陸上トレーニングに取り組んでいます



☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

○どんな活動ですか？

スキー活動です。とても湯西川らしい活動と自信を持っています。県スキー大会の出場経験者もいて、真剣に活動しています。

○一回の活動はどんなことをしているの？

雪がない時は陸上トレーニングや室内トレーニングを行います。3学期からは雪上トレーニング（ポール・大回転・回転の練習）も行います。

○活動に必要な準備物は？

スキー活動には板やウェアが欠かせません。そこで、ご家庭で使わなくなった道具などを使いまわし、活用することで取り組みやすい活動になっています。

○指導者は？

地域のボランティアが交代で指導しています。スキーが盛んな地域なので、国体やインターハイ出場経験のあるボランティアが指導しています。他にも地域の方々に指導に協力いただいています。

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は？

学校から歩いていける距離にスキー場があります。Tバーリフトの設置など、地域の方々の協力があるからこそできるスキー活動です。



練習の成果を見てね

【問い合わせ先】

日光市健康福祉部 子育て支援課 TEL:0288(21)5186 FAX:0288(21)5105

〒321-1292 日光市今市本町1番地

間小っ子ふれあいひろば【小山市】

実施場所	小山市立間々田小学校 校庭・あじさいホール他	小学校区	小山市立間々田小学校
開催日	毎週水曜日 授業終了後～16:30 <11～3月は16:00まで>	年間開催日数	26日/年間
参加対象者	1～6年生（全児童対象）	参加人数	134人
安全管理員数	10人	学習アドバイザー数	8人
申込み手続き等	学校を通じて配布される参加申込書に、スポーツ安全保険料（参加条件）を添えて受付日に申込。必要に応じて教材費の自費負担有り。		

【教室の特徴と活動概要】

- 教室の特徴
 - ・活動の場が多い（校庭、あじさいホール、ピロティ、図書館、体育館、児童活動室等）
 - ・児童数、スタッフ・ボランティアともに多く、活動内容が多種多様で充実している
 - ・学童保育の指導員もスタッフとして参加している
- 活動の概要
 - ・子どもの自主的な遊びを中心に、スタッフ・ボランティアの大人の方々とのふれあいなど、異年齢集団の中での交流活動
 - ・地域の人材を活かしたスポーツ、文化活動、創作活動（手芸、工作など）
 - ・全員でいっしょに遊ぶ場の設定（1年生歓迎レクリエーションなど）

☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

○どんな活動ですか？

子どもたちの創意工夫を含め、多種多様な活動が可能である（多くの場、多くの教材）。子どもたちはその中から自由に選択できる。自由に変更もできる。大きくは、校舎内活動（宿題、読書、手芸、工作など）と外活動（ボール運動、竹馬、なわとび、一輪車、遊具など）がある。

○一回の活動の流れは？

14:15 指導スタッフ・ボランティア集合、活動準備
 15:00 参加児童集合（あじさいホール）⇒活動開始
 16:30 あとかたづけ⇒活動終了
 （11月～3月は16:00）
 17:00 スタッフ・ボランティア帰宅

○活動に必要な準備物は？

子どもたちの希望に沿って、スタッフ・ボランティアの方々を用意してくれたり、メニューによって対応している。

○指導者は？

コーディネーターや地域のボランティア、学童保育のスタッフ、学校支援ボランティア、交通指導員の方などが、学校と連携を取って指導にあっている。

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は？

児童の安心・安全、楽しく有意義な活動を目指し、学校やスタッフ、ボランティアや学童保育の方々を交えて、運営会議を開催し、反省、改善を図っている。特に、児童指導については、学校側と話し合い、共通理解のもとに、自由な活動の中にも守るべきルールを設け、子どもたちの活動を見守っている。

いつもはできない事や、今まで知らなかったものがいっぱい。違うクラスの友だちや、ボランティアの大人の人たちといっしょに遊ぶのはとっても楽しい！！



【問い合わせ先】

小山市教育委員会 生涯学習課 青少年係
 TEL:0285 (22) 9667・9671 FAX:0285 (22) 9696

乙女っ子なかよし広場【小山市】

実施場所	小山市立乙女小学校 校庭・体育館・英語教室他	小学校区	小山市立乙女小学校
開催日	毎週木曜日 授業終了後～16:30 <11～3月は16:00まで>	年間開催日数	30日/年間
参加対象者	1～6年生（全児童対象）	参加人数	62人
安全管理員数	9人	学習アドバイザー数	9人
申込み手続き等	学校を通じて配布される参加申込書にスポーツ安全保険料（参加条件）を添えて受付日に申し込み。必要に応じて教材費の自費負担有り。		

【教室の特徴と活動概要】

- 教室の特徴
 - ・開所されて2年ということもあり、活動は流動的に変化することもあるが、限られた条件の中で、子どもたちとスタッフで創意工夫している。
- 活動概要
 - ・子どもたちの自主的な遊びをとおして、学年を越えた交流を図り、スタッフなど大人の方々のふれあいを体験する。
 - ・地域の人材を活かしたスポーツ、文化活動、創作活動（手芸など）をする。
 - ・全員でいっしょに遊ぶ機会を設ける（一年生歓迎レクリエーションなど）

☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

○どんな活動ですか？

子どもたちの発想に合わせて臨機応変に変化するが、スタッフの方からも新しい遊びや伝統的な遊びを提供し、共に活動します。特に人気があるのは校庭でのボール遊び（ドッチボール、サッカー、野球など）と室内での手芸（ビーズ、リボン作り他）、竹馬や一輪車も多くの子どもたちが挑戦している。

○一回の活動の流れは？

14:15 指導スタッフ集合・活動準備
 15:00 参加児童集合⇒活動開始
 16:30 あとかたづけ⇒活動終了
 （11～3月は16:00）
 17:00 スタッフ帰宅

○活動に必要な準備物は？

子どもたちの希望に沿って、スタッフの方々が用意してくれたり、メニューによって対応している。

○指導者は？

コーディネーターや地域のボランティアスタッフなどが学校と連携を取って指導にあたっている。

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は？

児童の安心・安全、楽しく有意義な活動をめざして、学校やスタッフ・ボランティアの方々を交えて、運営会議を開催し、話し合い、改善を図っている。特に児童指導については、学校側と話し合い、共通理解のもとに、自由な活動の中にも守るべきルールを設け、子どもたちとの信頼関係を深めながら活動を見守っている。

大人の人たちがいろいろな遊びを教えてくれるよ。友だちといっしょに体を動かしたり、何かを作ったり、広場はいつもたのしい発見でいっぱい！！



【問い合わせ先】

小山市教育委員会 生涯学習課 青少年係
 TEL:0285(22)9667・9671 FAX:0285(22)9696

押小っ子ふれあいスクール【さくら市】

実施場所	押上小学校(1年生オープンスペースおよび校庭)	小学校区	押上小学校
開催日	毎週月曜日	年間開催日数	25日/年間
参加対象者	押上小学校 1～6年生	参加人数	27人
安全管理員数	1人	学習アドバイザー数	1人
申込み手続き等	学校を通して配布される申込書を、年間保険料 800円とともにさくら市生涯学習課に提出する。参加費は無料。		

【教室の特徴と活動概要】

子どもたちの自主性を尊重し、子どもたちが自分で、または自分たちで何をするかを考える自由遊びを原則としている。ボランティアもその中に入って一緒に遊ぶ。ボランティアが、子どもたちにさせたい遊び(季節・行事を考慮した遊びなど)を提供する場合もある。

主な活動

- 昔遊び(お手玉・けん玉・おはじきなど)
- スポーツ(バドミントン・なわとび・サッカー・ドッジボール・固定遊具など)
- カードゲーム(トランプ・かるたなど)
- 美術(折紙・ぬりえ・お絵かき・絵手紙など)
- 手芸(棒編み・鍵編み・リリアンなど)
- 宿題
- その他(オセロなど)



↑編み物を教わっています

☆教えてください、「我が教室のイチオシ!活動」☆

○どんな活動ですか?

校庭でのサッカー、ドッジボール、大縄跳びなどの「外遊び」があることが特徴。自由に元気よくみんなで、楽しく駆け回っています。とにかく自由な遊び方をします。部屋遊びも充実していますが、外での活動はイチオシです。

○一回の活動の流れは?

競技でもなく、大会を開くわけでもない。自由な子どもたち主導の遊びです。そのため子ども同士のルールと思いやりに任せています。

○活動に必要な準備物は?

ボール、バドミントンラケット、縄跳びなどの用具とともに、十分な体力、元気、ゆとりの心です。

○指導者は?

ボランティアの方が7～8人います。うち、男性ボランティアが2名いて、子どもたちは男の方と外で遊ぶのが楽しいようです。

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は?

常に学校の協力と先生方との連携があるという実感があります。他に、保護者の方が毎回当番として出てくださり、一緒に遊んでくれています。

やあ、いっしょー!



喜小っ子ふれあいスクール【さくら市】

実施場所	喜連川小学校（体育館）	小学校区	喜連川小学校
開催日	毎週水曜日	年間開催日数	28日／年間
参加対象者	喜連川小学校 1～6年生	参加人数	17人
安全管理員数	1人	学習アドバイザー数	1人
申込み手続き等	学校を通して配布される申込書を、年間保険料800円とともにさくら市生涯学習課に提出する。参加費は無料。		

【教室の特徴と活動概要】

子どもたちの自主性を尊重し、子どもたちが自分で、または自分たちで何をするか考えての自由遊びを原則としている。ボランティアもその中に入って一緒に遊ぶ。また、大学生のボランティアも参加している。

主な活動

- 昔遊び（お手玉・けん玉など）
- スポーツ（バスケット・サッカー・ドッジボール・フットボール・バドミントン・長縄とびなど）
- カードゲーム（ブリッジ・トランプ・かるたなど）
- 美術（折紙・ぬりえ・お絵かきなど）
- 手芸（リリアンなど）
- その他（オセロなど）



児童と遊ぶ大学生ボランティア

☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

○どんな活動ですか？

「コントラクトブリッジ」（以下：ブリッジ）：テーブルに4人が腰掛け、向かい合った人がペアとなり、相手より強いカードを出して勝負をし、最終的に勝利数で勝敗を決めるカードゲーム。喜小っ子ふれあいスクールボランティアの中に日本コントラクトブリッジ連盟の方がおり、既に何年も継続的にふれあいスクールの場で活動をしてもらっている。平成24年度に関しては、隔週での活動となっている。

○一回の活動の流れは？

児童が来る前にブリッジ用のテーブルをセットし、やりたい児童がいれば、カードを配ってゲームを進行する。人数によってはボランティアが入り人数を調整する。基本的に勝負がつくまで続けるが、初めてだったり慣れていない児童にはブリッジのわかるボランティアが横について助言をする。

○活動に必要な準備物は？

ブリッジ用テーブル、イス4脚、ブリッジ用トランプカード、人数分のカードスタンド、参加者用記録ノート ※児童には、参加回数に応じて賞品が出る。（賞品は日本コントラクトブリッジ連盟より出ている）

○指導者は？

ボランティア内に喜連川を中心に活動しているブリッジ教室の方が2～4名おり、児童が楽しく興味を持ってゲームを続けられるよう、熱心に、また優しく指導している。

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は？

学校の夏季休業中に地域の方を先生としていくつもの講座を展開する。「サマーチャレンジ」においても講座の1つとして協力している。また、市内の多くの団体が参加する市民のお祭り「ゆめ！さくら博」でも体験活動を提供し、毎年好評である。

出
そ
う
か
な
・
・
・
次
は
ど
の
カ
ー
ド
を



【問い合わせ先】 さくら市生涯学習課 TEL:028(686)6621 FAX:028(686)5368

奥沢小 放課後子ども教室【大田原市】

実施場所	奥沢小学校 図書室	小学校区	奥沢小学校
開催日	毎週月～金曜日 13時～18時	年間開催日数	245日/年間
参加対象者	1年生～3年生	参加人数	登録人数 13人
安全管理員数	2人	学習アドバイザー数	2人
申込み手続き等	市の生涯学習課において周知、申込受付等対応 参加費 月額6,000円 長期休業日 日額300円、保険料 年額800円		



【教室の特徴と活動概要】

- ✿ きちんと挨拶ができる。
- ✿ 教室にきたらまず宿題をやる。
- ✿ おやつをみんなで食べる。
- ✿ 外遊び（サッカー、おにごっこ、バトミントン、縄跳び、校庭の遊具）
- ✿ お誕生日会、クリスマス、お別れ会（一斉下校時）
- ✿ 絵手紙、読み聞かせ、手作りおやつ（長期休み時）

【我が教室のイチオシ！】



絵手紙でうち作り



読み聞かせ



- 🔦 1回の活動の流れ・・・教室に来たら宿題やおやつを済ませ、活動する。
- 🔦 活動に必要な準備・・・活動に必要な先生に依頼して小物を準備する。
- 🔦 指導者・・・指導委員の紹介や、市・生涯学習課による紹介
- 🔦 学校や地域の人々との連携・・・お迎え時に保護者の方と情報交換を積極的に行う。

【問い合わせ先】

大田原市教育委員会事務局生涯学習課

〒324-0492 大田原市湯津上5-1081 TEL:0287(98)7115

羽田小 放課後子ども教室【大田原市】

実施場所	羽田小学校会議室、相談室	小学校区	羽田小学校
開催日	毎週月～金曜日、13時～18時	年間開催日数	240日／年間
参加対象者	1～3年生	参加人数	16人
安全管理員数	2人	学習アドバイザー数	2人
申込み手続き等	市生涯学習課において周知、申込受付等対応 参加費：月額6,000円、長期休業日：日額300円、保険料：年額800円		

【教室の特徴と活動概要】

- ①誕生会…前期と後期に分けて実施。誕生日を迎えた子供達。
一人一人に写真入りでおめでとうカードをプレゼント。
ケーキを食べてからビンゴゲーム。
- ②スイカ割り…夏休みに実施。
- ③七夕…笹に親子で書いた短冊を付け、子供達で作った飾りを付ける。
- ④絵手紙教室…長期休みに実施(年5回)。みんな一人一人真剣で手作りのはんこで満足そうです。
- ⑤クリスマス会…ケーキを食べ、ビックリボックスで大盛り上がりでした。
(手作り飾りでツリーに飾り付け)
- ⑥ひな祭り…ひな祭りの歌を歌う。ケーキを頂き、ビンゴゲーム。
- ⑦お別れ会…3年生に1年間の写真でアルバム風な物を、指導員が手作りし、渡して笑顔を頂いています。

スイカ割り



☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

○どんな活動ですか？

クリスマス会のビックリボックスについて

○一回の活動の流れは？

- ①クリスマスの歌をみんなで歌う。
- ②ケーキを食べる。
- ③ビックリボックスお楽しみ会

○活動に必要な準備物は？

ビックリボックスで使用する小物を保護者に声掛けをして、協力して頂きました。

○指導者は？

指導員4人で対応しています。

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は？

前月に次の月の予定表を教頭先生に渡し、当日には声掛けしてます。
行事のある時は、お手紙を作り、親御さんに渡し、お話をします。

何が入ってるのかな～？



【問い合わせ先】

大田原市教育委員会事務局生涯学習課

〒324-0492 大田原市湯津上 5-1081

TEL:0287 (98) 7115

いきいき何でも体験クラブ【佐野市】

実施場所	犬伏東小学校体育館・学習室等	小学校区	犬伏東小学校
開催日	水曜・木曜・土曜日	年間開催日数	88日/年間
参加対象者	1年生～6年生の希望者	参加人数	42人
安全管理員数	19人	学習アドバイザー数	4人
申込み手続き等	毎年4月に学校を通して申し込みを受けつけ、登録制。イベント的な行事は、その都度募集をとる。毎月全校児童に活動内容のチラシを配布する。		

【教室の特徴と活動概要】

『いきいき何でも体験クラブ』は、「子どもたちにいろいろな体験をしてもらいたい。」という、願いを込めて活動しています。小学校のPTA組織の中に、“居場所づくり実行委員会”があり、委員会の方が、交代でボランティアをしています。

活動日

★土曜日(毎週土曜日9時～12時)

- ・・・自由遊び、イベント（流しそうめん、年2回ミニミニコンサート、稲作体験、芋煮）など。第2土曜日は、地域の若者たちが指導に来て、ミニバスケットボールを実施しています。

★平日

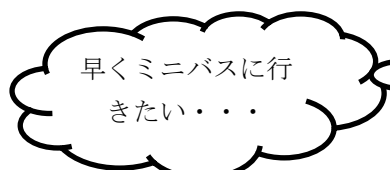
- ・・・水曜日 体育館で、ミニバスケットボール（14:30～16:30）
- ・・・木曜日 学習室で、<のんびり学び塾>（14:30～17:00）
1～2年生は宿題、3～6年生は自主学习。終わった子から体育館へ直行！！
16:00～16:30大学生の協力により、英語の勉強も取り入れました。
体育館で、ミニバスケットボール（15:00～17:00）←1.2年生は16:30まで



ミニミニコンサートで、ピアノを弾きました。



たまに、東小卒業の中学生も来て教えてくれるんだ。



早くミニバスに行きたい・・・



★『わが教室のモットー』

1年生から6年生までの全学年の子どもたちが、みんな仲良くバスケットボールを楽しんでいます。運動の苦手な子でも、少しずつボールに慣れることから始めます。「得意な子は苦手な子に教え、できるようになったらみんなで褒める。絶対けなしたりしない。」ことを、モットーにしています。

何も言わなくてもみんなが互いに協力し合えるようになりました。みんなのびのび、いきいきと楽しんでいます。 ==そんな子どもたちとふれあえた事に、感謝！！==

【問い合わせ先】

〒327-0398 栃木県佐野市田沼町974番地1
佐野市教育委員会生涯学習部生涯学習課

TEL:0283(61)1174 FAX:0283(62)6008
e-mail gakusyu@city.sano.lg.jp

久野・筑波子ども教室（足利市）

実施場所	久野公民館	小学校区	久野小学校・筑波小学校
開催日	原則 土曜日 10時～12時	年間開催日数	24日／年間
参加対象者	久野小・筑波小に通う児童	参加人数	登録人数 54名
安全管理員数	9人	学習アドバイザー数	9人
申込み手続き等	学校をとおして募集チラシを配付。申込みは学校と公民館。参加料は無料、必要に応じて教材費を徴収。		

【教室の特徴と活動概要】

・年間活動内容

No	活動内容
1	開級式 ともだちになろう
2	そば打ち体験
3	どろんこ体験
4	親子陶芸体験①
5	民話を聞こう
6	宿題をやっちゃおう①
7	宿題をやっちゃおう②
8	映画会
9	英語で遊ぼう①
10	英語で遊ぼう②
11	親子陶芸体験②
12	星空観察会
13	カレーづくり
14	竹トンボづくり
15	ドッジボールで遊ぼう
16	ソーラークッカー
17	フラワーパークで パンづくり
18	カレンダーづくり
19	ハンバーグづくり
20	ビーチボールバレー
21	クリスマス映画会
22	ドッジボール
23	小物づくり
24	お菓子づくり

・月に1～3回、6月～2月にかけて実施。夏休み期間中（No.5～14）は学童クラブと合同で実施。

活動は主に公民館を中心に行いますが、公民館外での活動もあります。スポーツやものづくりなどの体験活動を取り入れ、参加者が楽しめるよう工夫しています。（写真はNo.3 どろんこ体験）



☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

○どんな活動ですか？

陶芸体験～形作りから色付けまで～
2回に分けて実施します。

1回目…形作り。

粘土から皿やコップを作る。

2回目…色付け。

素焼きした器に色をつける。

○一回の活動の流れは？

9時～ 準備

10時～12時 教室の運営

12時～ 後片付け

○指導者は？

地元の陶芸家の先生を講師にしています。

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は？

登録している活動支援者（保護者や地域の方）に呼びかけ、できる限り参加してもらっています。具体的に指示を出すようなことはありませんが、子どもたちが安全に活動できるように見守り、片づけなどを手伝ってもらっています。教室の実施内容について意見をもらい、情報の共有も図っています。

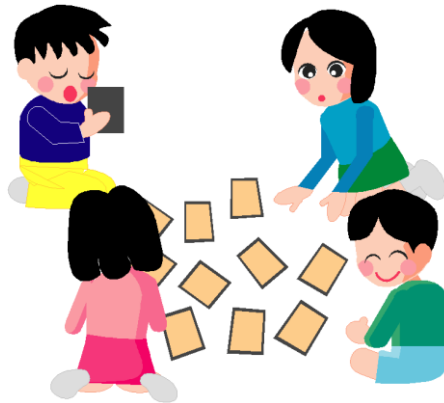


↑色付けの様子

【問い合わせ先】 足利市久野公民館 TEL:0284(71)9028



地域における 子どもの居場所づくりの取組



ふれあい広場【真岡市】

実施場所	山前改善センター	小学校区	真岡市立山前小学校
開催日	原則第2水曜日(4,8月を除く)	年間開催日数	10日
参加対象者	山前小学校児童	参加人数	43名(登録者数)
ボランティア数	延べ77人		
申込み手続き等	年度当初に案内を全児童に配布。5月から活動開始。年度途中からの参加も可能。		

【教室の特徴と活動概要】

- ・会場の準備(勉強部屋・体育館の用意、お茶の準備、受付係の机や名簿等の用意)をしてから、子どもたちを迎え入れています。2名が山前小学校へ児童を迎えに行き、山前改善センターに連れてきます。
- ・集合後ミーティングを行い、みんなでおやつを食べてから、各自勉強や遊びを始めます。
- ・地域のボランティア・保護者を子どもたちの活動場所に配置します。大人は活動を見守ったり、一緒に遊んだりしています。
- ・活動内容は、学校の宿題、サッカー、バドミントン、なわとび、野球、ユニホック、ベーゴマ、めんこ、折り紙、紙工作、かるたなどです。
- ・終了時間前には全員で片付けをし、保護者の迎えが来た順に帰ります。

活動の様子



☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

○どんな活動ですか？

元気な山前っ子が育つように、地域の大人が道標となって活動しています。参加児童の保護者には、年1回「ふれあい広場」の活動に必ず参加してもらっています。

○一回の活動の流れは？

保護者の意見を聞きながら、会議(年数回)などの場で話し合います。

○活動に必要な準備物は？

保護者の意見を聞きながら、会議(年数回)などの場で話し合います。

○指導者は？

地区の町会・育成会に協力していただいています。

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は？

児童の確保と保護者の参加、ボランティアの協力だと思えます。そのために、1日入学のときに、学校から「ふれあい広場」の活動を紹介してもらっています。

私が紹介します！

山前小学区青少年健全育成連絡会庶務会計
飯塚 岳史 さん

【問い合わせ先】

真岡市立山前小学校 真岡市小林672-2 TEL:0285(82)2527 FAX:0285(83)8067

熊倉一区ふれあい交流活動(真岡市)

実施場所	公民館・八幡公園他	小学校区	真岡小学校・真岡西小学校
開催日	行事に合わせて	年間開催日数	5日/年間
参加対象者	熊倉一区の幼稚園児、 小学1～6年生	参加人数	1事業あたり30～60人
安全管理員数		学習アドバイザー数	区役員他 約10名
申込み手続き等	区の回覧板で参加募集		

【教室の特徴と活動概要】

○ダンボールクラフト大会…完成後には発表会も実施

- ・型紙ダンボールにて車、バイク、アシモロボットをつくりました。
- ・ボランティア指導員の指示で作り上げました。



○寺久保祭(大運動会)…幼児から大人までが参加して一緒にがんばる

- ・区役員・組長・子ども育成会・あゆみの会(婦人会)・福寿会(老人会)で企画決定し、当日は中学生を主体に運営。
- ・四つ竹健康踊り会員の皆さんに踊りを披露していただき、区内の皆様に見ていただきました。
- ・約250人の参加者が親子3代の絆、町内友情の輪が広がる楽しいひと時を過ごしました。



○やさいも大会…苗植えから収穫、そして試食

- ・さつまいもの苗植えから始まり、いも掘り・いも洗い、そして試食という一連の過程を経験することで、食べるときの感動・喜びがさらに大きくなります。



※ふれあい行事は年1回ずつですが、地域の子どもが気軽に活動できる最大の場です。「子どもの成長に少しでも寄与できれば」との思いで毎年行っています。

☆教えてください、「我が教室のイチオシ!活動」☆

○どんな活動ですか?

子どもたちに、学校ではやりたくても出来ない事や親子3代で楽しくできること等が体験できるよう工夫した活動をしています。

○一回の活動の流れは?

スタッフの内容説明で知ってもらったり注意して頂いたりして開会から閉会まではじめをつけ、子ども達には感想を述べてもらったりします。

○活動に必要な準備物は?

各事業の必要物品について役員で役割分担を決めて、落ち度の無いようにしています。

○指導者は?

区役員、区部団体「あゆみの会(婦人会)・子ども育成会・福寿会(老人会)」の役員が会議でそれぞれの行事の責任者を決め、指示にしたがって進めています。平成24年度は役員全員が交流員となり、区長・公民館長が代表となって運営しました。

○活動を実施する際の学校や地域との連携は?

区役員と地域の組長の協力や、区内の様々な趣味の持ち主や農家の方、竹山を持っている方などの援助を受け、和やかな雰囲気です活動しています。

私が紹介します!

熊倉一区 区長 山崎 和雄 さん

【問い合わせ先】

真岡市熊倉一区 区長 山崎 和雄 TEL:0285(82)8165

高勢町子ども育成活動(真岡市)

実施場所	高勢町中央公園、高勢町公民館、外部事業会場	小学校区	真岡市立真岡西小学校
開催日	春夏冬の長期休暇、自治会行事日、地子連行事日	年間開催日数	約30日
参加対象者	小学生、中学生	参加人数	一事業あたり10～90人
安全管理員数	学習アドバイザーが安全を確認	学習アドバイザー数	45人
申込み手続き等	自治会広報及び子ども育成会ルートで募集		

【教室の特徴と活動概要】

(1) 真岡地区子ども会育成会連絡協議会事業への参加

- ① スポーツ大会 ② カルタ・輪投げ大会

(2) 小学校新入生卒業生の歓送迎会

(3) 子どもたちが安心してすごせる地域づくり

- ① 登下校時の交差点見守り ② 下校時の付添い・見守り

(4) 子どもが参加し楽しめる自治会行事の企画

- ① 地域の夏祭り ・子ども神輿 ・子どもお囃子
・子どもが遊び、楽しめる模擬店

- ② 伊勢崎の森に感謝の集い

子ども対象…夏休み中の支援再現(竹笛づくり、ミニ竹とんぼ作り、巣箱の取付け)、飯盒炊飯

(5) 世代間交流

- ① 肝試し ② 餅つき ③ どんど焼き

(6) 長期休業中の子ども育成支援(夏休み・冬休み)

- ① 書道教室 ② 万華鏡づくり ③ 巣箱づくり ④ ケーキ・アイスづくり ⑤ ラジオ体操



ケーキ・アイスづくり (H24. 8. 8)

☆教えてください、「我が教室のイチオシ! 活動」☆

○どんな活動ですか?

規約や組織などは緩やかな形のほうがよいと思います。

また、普段いろいろな形で子どもとふれあうことも大切

です。子どもたちに、自分が生活している「地域のおじちゃん」と親しみを込めて認知されることがベースとなると考えます。

○一回の活動の流れは?

子ども会育成会行事、地域子ども推進計画及び自治会行事を基に詳細計画を立てます。

○活動に必要な準備物は?

子ども会育成会行事、地域子ども推進計画及び自治会行事を基に詳細計画を立てます。

○指導者は?

高齢者世代の趣味、楽しみについての活動が25ほどあるので、そのメンバーに呼び掛けることで支援をお願いしています。

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は?

学校に直接訪問し、連携を図っています。また、上記活動を学校のホームページで配信してもらっています。保護者には、上記の計画及び企画を連絡しています。

私が紹介します!

高勢町区長(地域子ども育成支援代表)
今井 経夫 さん

【問い合わせ先】

高勢町区自治会 住所:真岡市高勢町1-196

西小WS(塙・星の宮の宝を育てる会)【益子町】

実施場所	塙自治公民館・小学校グラウンド	小学校区	益子町立益子西小学校
開催日	夏休み・随時	年間開催日数	7+α 日/年間
参加対象者	児童・保護者・地域の方	参加人数	総勢 270人(明細は下表)
安全管理員数	特別に配置なし 0人 但し当日の全体責任者は指名	講師(お手伝い)・PTA	5講座 85人
申込み手続き等	主催の会から学校へ実施計画を提示し、それに基づいて学校が募集する。		

【教室の特徴と活動概要】

西小ワークショップは平成13年立ち上げこの間紆余曲折を経て現在に至っている。

学校とPTA及び地域の方達が三位一体となり、夏休みの1週間を児童のために色々な内容の講座を開き、地域の活性化と夏休みを楽しく過ごす為の手助けをしている。

此の期間「遊びの広場」を除き日替わりで14講座を開設し、申込制にし、児童は材料費等の実費負担で参加している。

年間を通しては学校から各講師に一年間を前期・後期に分け開催可能日を確認して、それに基づき児童を募集して、講師の先生の自宅でも開催している。平成24年上期は5講座85人が参加している。

☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

○どんな活動ですか？

以下の講座を設け、事前に募集を行い実施している。

講座名	参加者
平成24年7月27日(金)	
① 親子の料理教室	20
② 地球温暖化と太陽光発電	4
③ やさしい折り紙遊び	6
7月28日(土)	
④ 飛ばしてみようプロペラ機 午後 飛行機を飛ばします	8
7月29日(日)	
⑤ 雨巻山で自然とふれあおう。(自然体験)	37
7月30日(月)	
⑥ お手玉作りと遊び方	8
⑦ 竹トンボ作り	6
7月31日(火)	
⑧ 大正琴を弾いてみよう。	12
⑨ 民話を楽しむ	0
8月1日(水)	
⑩ 紙飛行機を作って楽しく飛ばす。	20
⑪ お花でプレゼントを作ろう。	14
8月2日(木)	
⑫ 読み聞かせ	11
⑬ グランドゴルフ	18
⑭ ミュージック・パーティー(音楽遊び)	16
7月27日～8月2日	
⑮ 遊びの広場(昔の遊びをやってみよう。)	89

参加した子どもの感想等

- ・コマを回せるようになり楽しかった。
- ・山登りのコツを教えてもらい楽しく登れた。
- ・花をきれいに飾れ、家で上手と誉められた。



○一回の活動の流れは？

開始時間は9:30～11:50 途中お菓子と飲み物を提供し、休憩の時間がある。プロペラ飛行機と雨巻山登山は別途計画あり。

○活動に必要な準備物は？

原則的には講師の先生が準備、補助的なものは参加者が持参。

○指導者は？

小学校区の中で手を挙げた人をお願いしているが、高齢化により講師の後継者育成が今後の課題である。

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は？

現在の所は非常にうまく運営されておるが、過去においてはPTAの協力が少なかった時期もあった。PTAの関心と協力を得る事と、地域(自治会等)の理解を得ることが必要である。今後の方向性として子供会育成会との連携が取れ、一緒にできればより活性化すると思う。

【問い合わせ先】

塙・星の宮の宝を育てる会代表

矢代勇一(学校支援ボランティア・コーディネーター)

益子町立益子西小学校 TEL:0285(72)2532

TEL:0285(72)7255

藤井小学校 放課後子ども教室 & 壬生町子ども遊び学び塾(壬生町)

実施場所	放課後子ども教室：藤井小 遊び学び塾：壬生東小 壬生小 安塚小	小学校区	放課後子ども教室：藤井小学校区 遊び学び塾：町内全域
開催日	放課後子ども教室：金曜日放課後 遊び学び塾：土曜日午前中	年間開催日数	放課後子ども教室：各学期1回 遊び学び塾：年間10回
参加対象者	放課後子ども教室：1・2年生 遊び学び塾：1～6年生	参加人数	放課後子ども教室：各回約14名 遊び学び塾：各回約10名
安全管理員数	約10名（学校地域支援ボランティア）	学習アドバイザー数	約10名（学校地域支援ボランティア）
申込み手続き等	開催通知を家庭へ配付。参加費無料。ボランティア活動保険料は町が負担。		

【活動概要】

1 活動内容（平成19年度～）

- ◇礼法教室
- ◇ホテルかご作り教室
- ◇ゲートボール教室
- ◇スポーツチャンバラ教室
- ◇ニュースポーツ教室
- ◇折り紙・工作教室 等

【藤井小 放課後子ども教室】



【壬生町子ども遊び学び塾】



2 指導者

- ◇壬生町学校地域支援ボランティア
推進事業ボランティア登録者

☆工夫やポイント☆

○特徴は？

- ・藤井小放課後子ども教室は1・2年生児童が対象です。5時間授業のため高学年児童より早く下校する日に実施します。ボランティアと一緒にゲートボールを楽しんだ後、高学年児童とともに下校します。
- ・子ども遊び学び塾では、会場に来た児童とボランティアが「何をして遊びたいか」を話し合います。子どもの価値観を大切にしながら、活動内容を決めていきます。

○学校や保護者との連携を図る工夫は？

- ・藤井小放課後子ども教室は小学校が主体となって開催します。学校地域支援ボランティアへの依頼等は、生涯学習担当教員等が中心となって行います。
- ・子ども遊び学び塾は、生涯学習課が主体となって開催します。学校の協力を得ながら、チラシや町の広報紙等で地域への周知に努めています。

○活動がうまく進むポイントは？

- ・「児童の思いを把握する」「ボランティアの主体性に感謝する」「学校の思いを地域や家庭に伝える」など、学校・家庭・地域社会の三者が連携・協力して子どもを育てていこうとする価値観を、子どもたちにかかわる大人全員が共有することが大切かと思ひます。

私が紹介します！



潮田裕子教頭先生

【問い合わせ先】

- ・壬生町立藤井小学校 壬生町藤井1267 TEL：0282（82）0102
- ・壬生町教育委員会事務局生涯学習課社会教育係 壬生町通町12-22 TEL：0282（81）1873

石橋子どもクラブ料理教室(下野市)

実施場所	下野市スポーツ交流館調理室	小学校区	石橋地区各小学校
開催日	6月から12月	年間開催日数	6日/年間
参加対象者	小学校1年生～6年生	参加人数	各回30名
安全管理員数	9人	学習アドバイザー数	9人
申込み手続き等	5月に対象児童向けの募集要項を学校から配布してもらい石橋公民館で受付を行う。 参加費500円(材料費・保険料)		

【教室の特徴と活動概要】

公民館で青少年講座を実施しているボランティアに応募の取りまとめ、石橋地区のオピニオンリーダーに講師を依頼している。市の青少年教育の一環という位置付けであるため場所は、市が無償提供している。

講座は家庭的な雰囲気での調理実習をすることが目的であるため、異年齢によるグループ編成を行い、兄弟のように上級生が下級生の面倒を見る形で実施している。

☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

○どんな活動ですか？

家庭的な味を学ぶためにオピニオンリーダーが調理内容を検討して、オーソドックスな家庭料理をつくるようにしています。

○一回の活動の流れは？

開催場所までの送迎は各家庭の責任でお願いしています。

調理が難しいものは、子どもができるところまでは自分たちで調理させ、できないところを講師が補う形で実施しています。

○活動に必要な準備物は？

各種食材は講師が用意しておき、必要な調理器具は施設のものを利用する。

講座終了後に家庭に自分で調理した料理を持ちかえるために持ち帰り容器を各自持参する。

○指導者は？

家庭教育オピニオンリーダー 青い鳥

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は？

学校へはチラシ配布をお願いし、講座は地域のボランティアが実施している。



【問い合わせ先】

〒329-0433 下野市石橋416 下野市教育委員会 生涯学習課 石橋公民館

TEL:0285(52)1157 FAX:0285(52)1158

ゴーゴー学び塾【下野市】

実施場所	下野市国分寺公民館	小学校区	国分寺地区の3小学校
開催日		年間開催日数	延 102 日/年間
参加対象者	国分寺地区小中学生	参加人数	延 1150 人程度
安全管理員数	12 人	学習アドバイザー数	延 30 人程度
申込み手続き等			

【教室の特徴と活動概要】

- ・前年度中に次年度のボランティア講座を運営して下さる団体や講師に、登録を依頼。(24年度は12講座)。国分寺公民館が事務局となり、年度初めまでに受講生募集のチラシを作成し、新年度4月中旬までに地区の3小学校を通じて、チラシを個別配布する。申込みは公民館で受付け、受講生が決定したら、各講師に受講生名簿を渡し、運営を委託する。
- ・希望があれば、講師と相談のうえ、市外からの受講生を受け入れている。

☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

○どんな活動ですか？

各講座により、様々な体験ができます。

伝統文化のお茶や生け花、将棋や囲碁。自然に親しむ会や理科実験クラフト系の物づくり講座も4講座。料理やボール運動教室もあります。

○一回の活動の流れは？

講座により、ちがいます。

年間を通して、技術や知識の習得を図る講座や、一回で一つの物を作り、仕上げる喜びを体験できる講座があります。

○活動に必要な準備物は？

各講座により、違いますが、多数の講座は材料代が必要になります。

○指導者は？

地域のボランティア講師や、地域で活動されている団体です。

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は？

受講生を募集する際に、チラシ配布等で小学校には多大なご協力を頂いています。

講座の運営にあたりましては、地域の住人がボランティア講師となってお協力を頂いています。

楽しい！

可愛いのができたよ！

また来ます！ 等・・・



【問い合わせ先】

下野市国分寺公民館 TEL:0285(40)5563 FAX:0285(40)5564

ガッテン！科学の芽！（下野市）

実施場所	下野市南河内公民館	小学校区	市内小学校
開催日	6/16.7/21.9/15.10/20.11/17	年間開催日数	5日／年間
参加対象者	市内の小学3年生～6年生	参加人数	25
安全管理員数	2人	学習アドバイザー数	2人
申込み手続き等	生涯学習誌「エール」に掲載し募集、申込み用ハガキにより受付、講座費用1,500円		

【教室の特徴と活動概要】

- ・地域のボランティアグループ「面白理科実験クラブ」の皆さんが企画・運営して、身近な生活の科学の不思議を、実験をとおして楽しく学んでいる。
- ・子供たちが参加しやすいように、市の生涯学習情報誌「エール」に年間の学習内容を掲載し、受講生を募集している。
- ・24年度受講生は、定員を超えたため抽選し受講生を決定した。

☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

○どんな活動ですか？

子供たちが理科実験を体験して、その面白さ、楽しさを味わい、理科を好きになってもらう活動。

○一回の活動の流れは？

講師が実験の概要を説明したあと、いくつかの段階に分けて実験を進めていく。数人の補助指導者は、子供たちの進度に大きな遅れがないように補助しながら進める。

○活動に必要な準備物は？

実験に必要な器具や材料は、指導者側で準備する。
子供たちは、筆記用具などを持参する。

○指導者は？

「下野市自然に親しむ会」に所属する理科実験部員約10名が交替で講師・補助指導者を務める。

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は？

参加者の募集時に学校に協力をお願いする場合がある。
「下野市自然に親しむ会」は地域のボランティア団体である。



【問い合わせ先】

下野市南河内公民館 TEL:0285(48)2393

大宮公民館 のびのび体験ひろば【栃木市】

実施場所	大宮公民館	小学校区	大宮北小学校、大宮南小学校
開催日	6月～1月（不定期）	年間開催日数	6日／年間
参加対象者	1年生～6年生	参加人数	各回平均25名
安全管理員数		学習アドバイザー数	6名（講師）
申込み手続き等	学校に募集チラシの配布を依頼し、公民館で募集受付。		

【教室の特徴と活動概要】

平成24年度実施講座

第1回	楽しくできるキッズ体操！
第2回	絵手紙にトライ！暑中見舞いをだしてみよう
第3回	バス見学旅行：「ツインリンクもてぎ」で森のクラフト教室
第4回	しめ縄づくり
第5回	おたのしみ料理教室
第6回	お年寄り体験「70年後のぼく、わたし」

☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

○どんな活動ですか？

子どもたちが興味のあるものや、子どもたちに学んでもらいたいものを取り入れながら、学校や学年という括りにとらわれず、各回楽しく活動しています。特に「しめ縄作り」は、地域の有志の方々にご協力をいただき、しめ縄の由来や種類など色々な話を交えながら、世代間交流を兼ねた活動として実施しています。



○一回の活動の流れは？

各回ごとに完結の講座形態となっており、開催時間は2時間程度となっています。しめ縄作りでは、わらを蒔い、飾り付けを行い「ごぼうじめ」を完成させました。



○活動に必要な準備物は？

しめ縄用のわらの作付けや稲刈り、飾り用の柚子やゆずり葉等は講師の方に、幣束や小物等については公民館で準備しています。子どもたちが準備するものではありません。



○活動を実施する際の学校や地域との連携は？

募集チラシの配布を地域の各小学校に依頼し、講師については地域の有志の方々に協力をいただいています。

【問い合わせ先】

栃木市教育委員会事務局 生涯学習課 大宮公民館
栃木市大宮町422-1 TEL:0282(27)0073

豊田っ子ふれあいスクール【矢板市】

実施場所	豊田小学校内ランチルーム	小学校区	矢板市立豊田小学校
開催日	月、火、木、金 15～18時 学校日程により変更の場合あり	年間開催日数	160日
参加対象者	豊田小学校 1年生～6年生	参加人数	9人
安全管理員数	23人	学習アドバイザー数	
申込み手続き等	学校をとおして全児童に募集チラシを配布する。回収窓口も学校とするが、参加者の集計など事務的なことは事務局長が行う。参加費2000円/月（おやつ代など）。スポーツ保険加入必須。保険料別途。		

【教室の特徴と活動概要】

豊田っ子ふれあいスクールは、豊田小学校の入学児童が減少したことから、学童のない豊田小学校にふれあいスクールを創設しようと地域住民が立ち上がり、生涯学習課のコーディネーターとともに運営しております。サポーターは、すべて地域ボランティアで組織されています。普段の活動は宿題を見たり、子どもの自主的な遊びにサポーターが加わるかたちです。（卓球、お絵かき、オセロ、トランプなど）

☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

○どんな活動ですか？

今年はふれあいスクールに参加していない、豊田小児童も自由参加のクリスマスパーティーを開催しました。多くの児童・サポーター、またサポーターのご友人・ふれあいスクールOBの中学生も参加したりと、とても賑やかな会になりました。



○活動に必要な準備物は？

イベント告知のチラシ、ケーキ作りに必要な材料・用具、プレゼント、ソーランのCD、室内の飾り付け、その他飲食物。

○指導者は？

教室のセッティングや会の流れは山本委員長とコーディネーターが担当。ケーキ作りは、お菓子作りの経験のあるサポーターさんたちに指導していただきました。

○活動を実施する際の学校や地域との連携は？

こういった内容にするか一ヶ月前から、学校側と山本委員長、コーディネーターを交えて話し合いを進めました。その後、決まった日時・内容を手紙で保護者・サポーターに送付し、サポーターのご友人も招待できるということで、地域全体への周知・連携を図りました。

○活動の流れ

- 14:00 サポーター集合・準備
- 15:30 ふれあいスクール登校
クリスマスパーティー開始
- ・クリスマスケーキ作り
- ・豊田ソーラン披露
- ・ケーキや飲み物、各々持ち寄った物を食べながら団らん
- ・サンタさんからプレゼント
- 17:30 会終了・片づけ
児童お迎え

【問い合わせ先】

矢板市教育委員会生涯学習課まなび担当 TEL:0287(43)6218 FAX:0287(43)4436

ウィークエンド・サークル活動【塩谷町】

実施場所	塩谷町生涯学習センター他	小学校区	町内全小学校
開催日	土曜日 9時～12時（終日も）	年間開催日数	7日／年間
参加対象者	小学校 1年生～6年生	参加人数	76名
安全管理員数	15名	学習アドバイザー数	10名
申込み手続き等	町内全小学生を対象にチラシを配布し、町生涯学習センターを窓口にて年間2,500円の参加費で申し込む。		

【活動概要】

【第1回】全体活動「ミニゲームでみんな仲良し&みんなでウォークラリー」・開講式

開講式に併せて、仲間づくりのためのグループ対抗ミニゲームと班対抗ウォークラリーを行いました。

【第2回】親子活動「昭和の遊びを体験しよう」

シルバー大学卒業生のみなさんと一緒に、親子で昔懐かしのベーゴマ、あやとり、おはじき、ビー玉、めんこ体験を行いました。

親子活動「体を使ってあせかいて“ニュースポーツ”」

町の体育指導委員の指導を受けながら、ペタンクやディスクゲッター、スポーツチャンバラなど、楽しみながら体験を行いました。

【第3回】ものづくり「めんまつり“うどん・そば・そうめん”作って食べて楽しもう」

町内のソバ打ちグループの方々を指導者に迎え、希望に応じてソバもしくはうどん打ちを行い、完成品を調理し、会食をして楽しみました。

☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

○どんな活動ですか？

ウィークエンド・サークル活動実行委員及び町ジュニアリーダースクラブが企画会議を年度の初めに開催し、協議の上内容を決定しています。

ものづくり・親子ふれあい・自然体験・交流活動など目的ごとに活動内容を設定しています。

○一回の活動の流れは？

事前に学校の協力を得て実施お知らせを配布し、JLCの司会進行の下



楽しい仲間が増えました。

テーマに応じて協力をお願いした地域の指導者が中心となって活動を進めています。活動中は、JLCと指導者が子どもたちと関わり、テーマに向けての作業をしながら、ふれあい活動となるようにしています。

○活動に必要な準備物は？

名札と活動に応じた材料などです。

○指導者は？

活動に応じて、地域の方々をお願いしています。具体的には、各種講座修了生やボランティアバンク登録者、様々な情報を総合しての適任者など、多くの町民のみなさんの活躍の場になるように留意して依頼をしています。

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は？

学校には、活動の周知に協力いただき、また、地域の方で組織するボランティアである実行委員と、中高生で組織するJLCと連携し実施しています。

【問い合わせ先】

塩谷町教育委員会事務局生涯学習課(塩谷町生涯学習センター)

塩谷町船生 989-1 TEL:0287(48)7503

土屋はかせ塾（高根沢町）

実施場所	主に図書館仁井田分館	小学校区	小学校
開催日	不定期 土曜日 10時～12時	年間開催日数	6日／年間
参加対象者	子供から大人まで	参加人数	32人（平均）
安全管理員数		学習アドバイザー数	1人
申込み手続き等	町内図書館にポスター掲示（年間計画）、町広報紙に掲載し周知。 参加費無料、直接会場に集合。ただし、遠征塾（館外研修）時は事前申込みのうえ実費負担。		

【教室の特徴と活動概要】

○どんな活動ですか？

“身近なものを使って、おもしろ実験をします。”

期 日	曜日	活動テーマ
6月16日	土	色が出る不思議なコマ作り
7月26日	木	遠征塾（館外研修）〈茨城方面〉
8月25日	土	金魚と遊ぼう〈図書館中央館〉
10月20日	土	モーターを作ろう
12月8日	土	綺麗な炎のクリスマスキャンドルを作ろう
2月2日	土	電気クラゲを飛ばそう

○一回の活動の流れは？

受付後、空いているテーブルにどうぞ。

先生の注意、説明を聞いて実験開始。片付けも忘れずに！

○活動に必要な準備物は？

必要な物は全て準備しますが、実験により家庭で手にはいる空のペットボトル等を持参してもらうことがあります。

○指導者は？

土屋はかせ（土屋佳雄氏）。この塾を主宰して17年、大人の参加者も多く参加人数は延べ3万人超。

とても楽しかった！！



【問い合わせ先】

高根沢町教育委員会事務局 教育部生涯学習課

TEL:028(675)3175

若鮎クラブ(那須烏山市)

実施場所	烏山公民館	小学校区	市内全域
開催日	毎月2回 土曜日 8時～16時	年間開催日数	21 日/年間
参加対象者	市内に住む小学1年生～5年生	参加人数	30人
安全管理員数	54人(スタッフ)	学習アドバイザー数	54人(スタッフ)
申込み手続き等	おたのしみプラン 子ども体験教室 若鮎クラブ申込書		

【教室の特徴と活動概要】

☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

○どんな活動ですか？

- ・自然に触れる活動
- ・地域文化を知る活動
- ・異年齢児や地域の異なる子ども同士の触れ合う活動

○一回の活動の流れは？

- ・そのときの活動に応じて活動の流れについては異なります。
- ・バスを使用したときなどは、中心になるリーダーが活動の流れを考えて子どもたちをリードしていく。

○活動に必要な準備物は？

- ・準備品については、事務局とスタッフがそのときにに応じて互いに準備し合うようにしています。

○指導者は？

- ・6年生以上がスタッフになり、各活動でリーダーとしてグループ活動を行うところに大人スタッフが付かたちで活動を進めています。

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は？

- ・学校とのかかわりは持ちませんが、地域の人たちとのかかわり合いは活動の全般を通して、大いに触れ合うことで活動が成り立っています。

回	月	日	曜日	内容等	場所
1	5	20	日	開講式、泥んこ体験① 田植え体験	烏山公民館、大桶下地内
2	5	26	土	地域の文化を知ろう！① 野山の観察	烏山公民館
3	6	9	土	世代間交流(グラウンドゴルフ)	烏山公民館
4	6	23	土	地域の文化を知ろう！② 焼物に挑戦！	烏山公民館
5	7	7	土	地域の自然を知ろう！① 挑戦！おらが山「茶臼岳」	那須
6	7	21	土	地域の文化を知ろう！③ 水遊園でお魚くんに親しもう	なかがわ水遊園
7	8	4	土	地域の自然を感じよう！① 那珂川を知ろう(着衣水泳、飯ごう炊飯、救急法体験)	落石
8	8	18	土	我ら山の子、海へ行く！ 海浜の自然に親しもう	とちぎ海浜自然の家
9	8	19	日		
10	9	8	土	地域の文化を知ろう！④ 座禅と滝行に挑戦！	栃木市 満願寺
11	9	29	土	地域の文化を知ろう！⑤ 世界遺産の日光を見学	日光市
12	10	13	土	泥んこ体験② 稲刈り体験	大桶下地内
13	10	27	土	地域の文化を知ろう！⑥ 和紙漉きに挑戦	福田製紙所
14	11	4	日	泥んこ体験③ 収穫祭	七合公民館
15	11	17	土	スケートに挑戦！	日光露降
16	12	1	土	伝統文化(杵と臼で餅つき)に挑戦！ 歳末防犯慰問(烏山警察署・交番・消防署)	烏山公民館
17	12	22	土	みんなで手作りクリスマス&駅の大掃除	烏山公民館
18	1	12	土	地域の文化を知ろう！⑦ ディンプルアートに挑戦！	烏山公民館
19	1	26	土	地域の文化を知ろう！⑧ 県庁&子ども科学館見学	宇都宮市
20	2	2	土	手作りバレンタイン、ホワイトデー！	烏山公民館
21	2	16	土	雪山体験 スキーに挑戦！	那須塩原方面
22	3	2	土	地域の文化を知ろう！⑨ ちらし寿司作りに挑戦 閉講式	烏山公民館



【問い合わせ先】

烏山公民館 TEL:0287(83)1412 担当 高田

親子ふれあい塾【那須町】

実施場所	芦野期間集落センター 他	小学校区	芦野小学校
開催日	夏休み期間中の2日間	年間開催日数	2日/年間
参加対象者	1年生～6年生及びその親	参加人数	子供のみ26名 親を含め41名
安全管理員数		学習アドバイザー数	

【教室の特徴と活動概要】

親子で参加して、一緒に楽しんだり、学んだり、感動したりすることで、親子のふれあいを促進し、親子の絆を深めるため、夏休み期間中に、移動教室（若しくはレクリエーション）と木工教室の2回を実施しております。

移動教室は、子供会育成会と連携し、周知や募集の協力や経費の一部負担をしてもらっております。

木工教室は、農林振興課より材料の提供を受け、那須町林業振興会の指導により実施するため、参加費無料で実施しております。

☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

○どんな活動ですか？

親子が協力する事業として、木工教室を実施しています。
夏休みの課題の工作として提出できるため人気があります。

参加費は無料。

○一回の活動の流れは？

作業の工程の説明の後に、親子ごとに別れ、協力して木工品を作成します。（巣箱、イス等）

○活動に必要な準備物は？

ドリル、ドライバー、かなづち、軍手等

○指導者は？

那須町林業振興会及び那須町農林振興課

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は？

学校から募集の連絡をもらい、那須町農林振興課より材料の提供を受け、那須町林業振興会の指導で作成します。



【問い合わせ先】

那須町立 芦野公民館 TEL:0287(74)0002

わくわくどきどきクラブ【那須塩原市】

実施場所	三島公民館	小学校区	三島小学校
開催日	6月～12月の主に土曜日	年間開催日数	8日/年間
参加対象者	三島小学校4～6年生の児童	参加人数	21人
安全管理員数		学習アドバイザー数	
申込み手続き等	三島小学校を通してチラシを配布、三島公民館へ直接申し込む（参加費 1,000円）		

【教室の特徴と活動概要】

おおむね、調理実習、工作×2、屋外活動（移動教室含む）×2、公民館まつり準備・出店をベースとして年間計画を立案。工作や周辺地域での野外活動に際しては、活動内容を講師にご提案いただくことが多い。

今年度実施例

6月開講 お菓子作り（あんきり） 7月工作（桜の枝でバッチやペンダントを作る）
8月移動教室（工場見学） 9月演劇鑑賞（市民劇団「劇団なすの」による劇、那須野の大地）
10月周辺散策（三島再発見） 11月公民館まつり準備・出店 12月閉講 ケーキ作り

また、当講座の参加児童は、同じく三島公民館の事業である「こどもおはやし会」や「夏休み子どもクラブ」等への参加率も高い。

☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

缶カンテラを作ろう！ビニル袋でご飯を炊こう！（平成23年度実施）

○どんな活動ですか？

公民館中庭を使っての火おこし体験を行い、その火でビニル袋や経木に詰めたご飯を炊く（煮る）。

並行して空き缶カンテラの作成。缶詰の空き缶の側面に持ち手となる針金を通す穴をあけ、底に釘で好きな模様の形に穴をあける。

○一回の活動の流れは？

集合・班編成→お米をビニル袋・経木に詰める→（火をおこす→かまどに水を張った釜（鍋）をセットし、沸騰したら袋に入った米を入れる）※班で交代をしつつ缶カンテラを作成→炊き上がったら食事→後片づけ→解散

○活動に必要な準備物は？

ビニル袋でご飯を炊こう：かまど（一斗缶等で代用可）、鍋、お米、ポリエチレン袋、火おこし用具（博物館等から借用）

缶カンテラ作り：空き缶、釘、金づち、ろうそく

○指導者は？

市内住民

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は？

完成した缶カンテラをもって。近接のボーイスカウト野営場までナイトハイクをする予定だった。（実際には火おこしに時間がかかりすぎ断念）



【問い合わせ先】 那須塩原市教育委員会事務局教育部三島公民館

TEL:0287(36)8531 FAX:0287(36)8532

E-mail ph-mishima@city.nasushiobara.lg.jp

やばっこ 学びの巣【足利市】

実施場所	やばっこ広場(矢場川公民館隣り)	小学校区	足利市立矢場川小学校
開催日	土曜日9時～13時	年間開催日数	概ね10日/年間
参加対象者	矢場川小学校に通う児童	参加人数	平均20名程度
安全管理員数	5人～10人	学習アドバイザー数	5人～10人
申込み手続き等	地区広報誌と小学校をとおしてチラシ配布。申込みは公民館。参加費300円程度。		

【活動概要】

○伝統行事や季節を堪能する活動

- ・たけのこ掘り：季節の旬の味を楽しみたく、筍を自分達の手で掘り、その筍を使って筍ご飯を竹筒の飯盒で炊きました。

○手作りを楽しむ活動

- ・竹細工：ナタで竹を割いたり、小刀を使って水鉄砲や水笛をつくりました。
- ・大凧づくり：切り出してきた地域の青竹を使って、大凧を作る恒例行事。
- ・草餅づくり：みんなでよもぎをとって草餅をつくりました。
- ・ピザ作り：お父さん達のお手製のレンガの釜で、生地をこね、野菜を切り、ピザを焼いて食べました。



ジャガイモを掘ったよ

☆教えてください、工夫やポイント☆

○活動内容はどのように決めているの？

‘お酒を酌み交わしながら行う話し合いのひととき’にアイデアを出し合い、多彩で魅力的な活動に繋がるような内容を決めています。

○学校や保護者との連携を図る工夫は？

年度初めと長期休業後に話し合いを持ち、育成会やPTAなどの既存組織と協力関係を保ち、活動内容が重複しないようにしています。学校や地域を巻き込むことで連携を築いています。

○ボランティア等の協力者を集める工夫は？

これまでの活動プログラムにとらわれることなく、新しい取り組みを積極的に取り入れるようにしています。なにより大人自身が本音で生き生きと人生を楽しみ、子どもたちと共に在りたいという気持ちで集まった脳みそのやわらかい大人たちの姿を見せることで、そこに集う方をゲットしています。

○活動がうまく進むポイントは？

「背伸びせず、できることを未来へ投資（お金は絡みません）し、参加者自身が楽しむことで、活動を継続しネット（納豆よりねばっこい）ワークを広げていきたい。」これが、私たちのモットーですので、居心地の良い地域をつくるために決して無理せず、本物にこだわりながら、子どもたちをはじめ、お年寄りを含む大人たちが日常的に関わることのできる居場所や関係づくりに取り組んでいくことです。

○活動や子どもたちへの想いを一言！

子どもも大人も共に楽しみ、共に学ぶ。

その上で、子ども達にはたくさんの「体験」を積み重ねてほしいと思います。

【問い合わせ先】 足利市矢場川公民館 TEL:0284(71)2444



平成24年度放課後子ども教室推進事業の 効果及び成果に関する調査結果について



平成24年度 放課後子ども教室推進事業の効果及び成果に関する調査結果について

I 調査概要

1 調査目的・方法・期間

県内の放課後子ども教室の実施状況を把握し、事業の効果を検証するとともに、今後の放課後子ども教室の推進を図るため、質問紙による調査を、平成24年11月12日(月)～12月21日(金)に実施した。

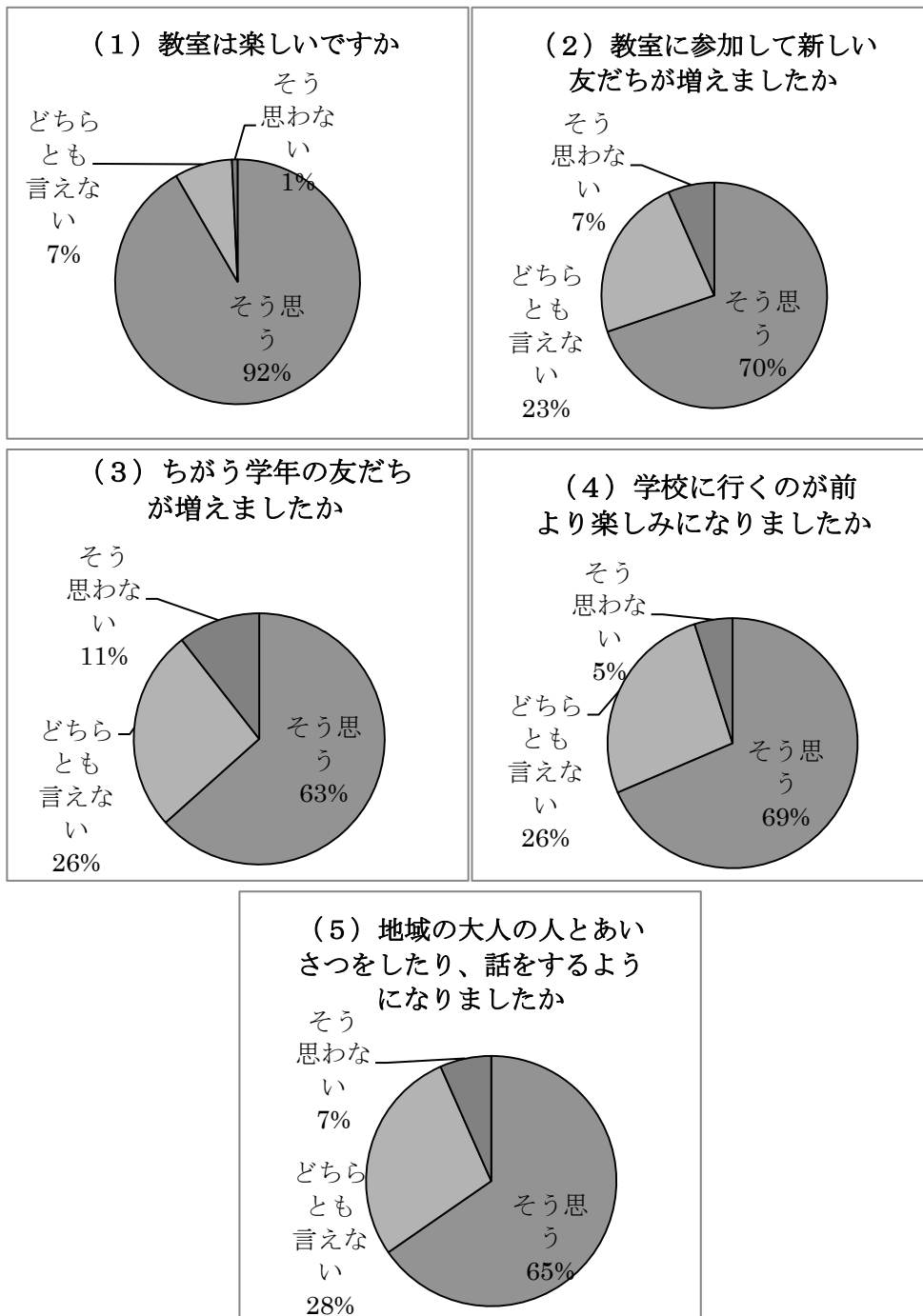
2 調査対象

県内放課後子ども教室推進事業実施市町	8市町	22教室
回答数	調査1：子ども	407人
	調査2：保護者	315人
	調査3：安全管理員・学習アドバイザー	141人
	<u>調査4：担当者・コーディネーター</u>	<u>16人</u>
	合計	879人

II 調査結果

○ 調査1：子ども対象

1 放課後子ども教室に参加してどうでしたか。



2 放課後子ども教室で楽しみにしていることは何ですか。

【人との交流】

おしゃべり みんなと宿題をやること みんなと遊べること おじさん達との鬼ごっこ
友達と家族ごっこ ボランティアと遊ぶ 下の学年の子と遊ぶ 6年生のお姉さんと遊ぶこと
友達を笑顔いっぱいにする 違うクラスの友達と遊ぶこと 地域の人たちと遊べること

【スポーツなど体を動かすこと】

野球 ブランコ ボール遊び うんてい 鉄棒 ケイドロ バドミントン 一輪車 卓球
サッカー なわとび ドッジボール たこあげ 氷鬼 秘密基地 ラグビー クリケット
スポーツ吹き矢 竹馬

【室内での遊び】

ビーズ遊び ビンゴ ブロック遊び お絵かき トランプ レゴ遊び あやとり 折り紙
ねんど 将棋 手芸 工作 けん玉 ドミノ 紙飛行機 UNO ハンドベル 歌 読書

【その他】

イベント(誕生会やクリスマス会、お楽しみ会) 料理(お菓子作り、ケーキ作り、草餅作り)
絵を描いてもらうこと 砂場での泥団子や落とし穴作り 陶芸 演奏会 読み聞かせ
マザーグースのお話会 考えること 自然とふれあうこと
毎回色々なものを作る 絵手紙で絵を描くこと 自分で工夫してできること
お茶会とフラワーアレンジメント 友達が増えることの期待 いろいろな体験
新しい遊びを覚えてもらうこと 家ではできないことがたくさんみんなでやれる
たくさんの友達を作りたい どんな友達がくるのか、どんなことを教えてくれるのかということ
新しい発見や違う友達に出会うこと 美しい景色を見ること
自然観察クラブでハイキング、山登り、自然の魚、虫、などを教えてもらうことが楽しみ

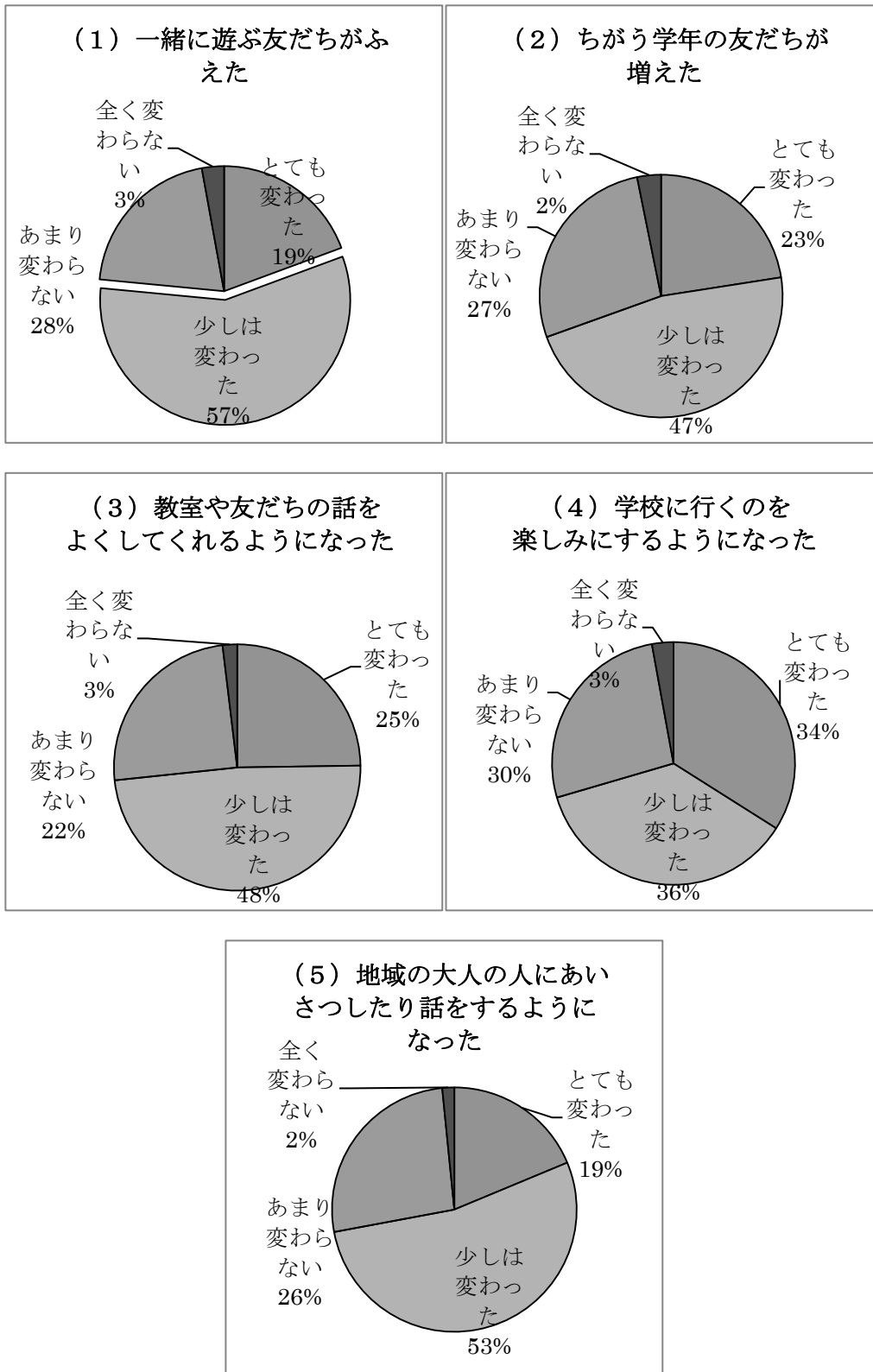
3 教室でやってみたいことは何ですか。

昔の遊び(めんこ、こま、お手玉、けん玉、竹馬、たこあげ、ベーゴマ、あやとり)
演奏(ピアノ、鍵盤ハーモニカ、和太鼓) 調理(おやつ、餃子、バウムクーヘン、蕎麦打ち、焼きいも)
イベント(お花見、流しそーめん、すいか割り、クリスマス、餅つき、お楽しみ会)
ねんど遊び 絵手紙やはんこ作り アクセサリー作り クリスマスツリー作り 点字の絵本作り
お絵かき 宿題 ぬり絵 読書 書道 紙芝居 縫い物や編み物 折り紙 実験
英語 将棋 カルタ オセロ 漫画を描く トランプ ウノ パズル 缶けり なわとび
だるまさんが転んだ 氷鬼やふやし鬼 いすとりゲーム ケイドロ ドッジボール サッカー
ボーリング テニス ブーメラン 野球 ダンス 雪合戦 一輪車 スポーツ吹き矢 鉄棒
フラフープ バスケットボール キックベース トランポリン ドッジビー バレーボール
動物飼育 馬跳び つり 長距離走 水泳 リサイクルなもの(廃品)を利用して工作
フルーツバスケットなど全員で遊べるゲーム 風船に手紙をつけて飛ばしたい 先生とたくさん話す
ダンボールを使ってみんなで家を作りたい 普段では体験できないこと 星空ウォッチング
今やっている遊びが楽しいので特にない みんなで物作りをして、作った物でみんなでゲームする
大人と遊ぶ 教室の清掃活動 外で遊ぶのはおじさん達ばかりなので、外でおばさん達とも遊びたい
何でもやってみたい いろいろな山に行っておじさんの植物、虫などを見たい
お囃子の練習をしてお祭りに出たい 地域のお年寄りに昔話をしてもらいたい

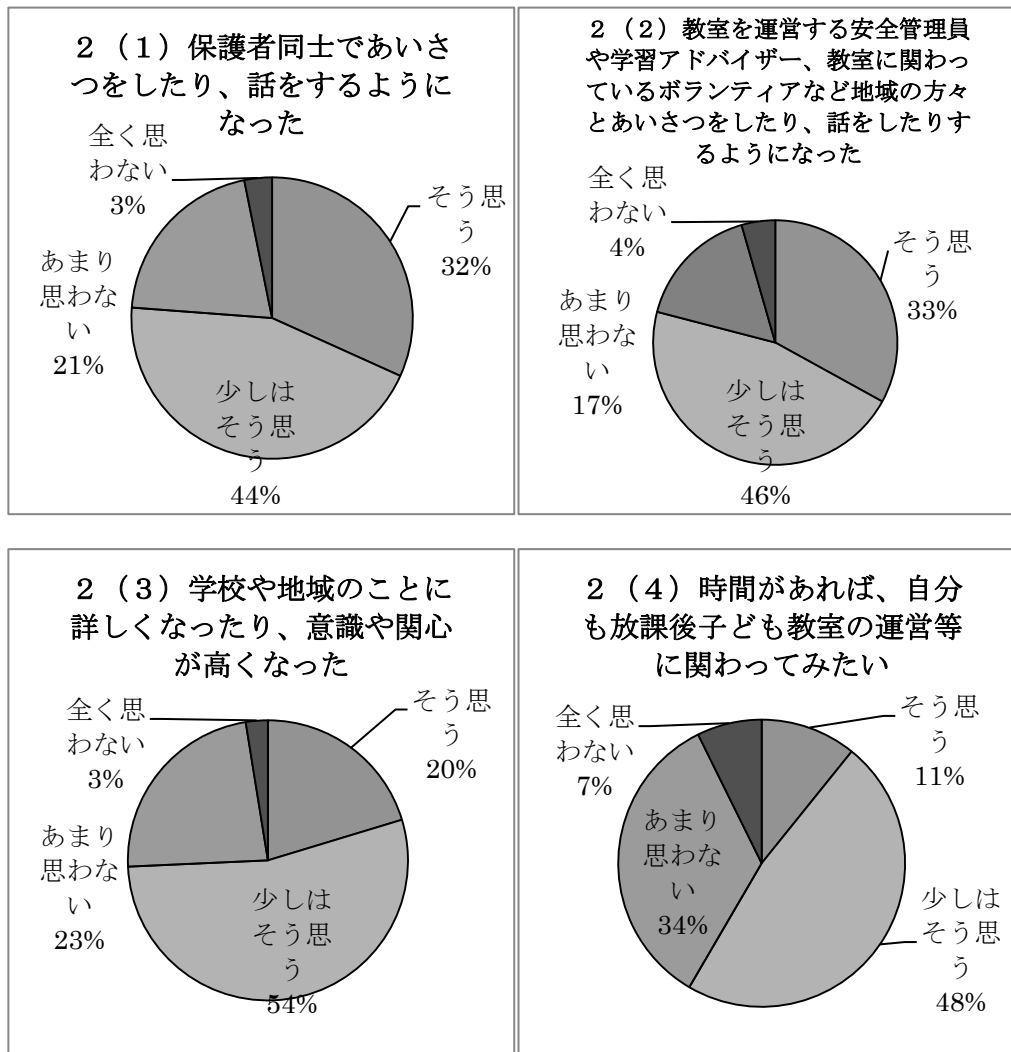
教室に参加している子どもの9割が、教室での活動を楽しみにしていることや、子どもの興味・関心が多種多様であることがわかった。特に、多くの友だちや地域の方々、大学生等のボランティアと一緒に活動やふれあいを楽しみにしているようである。また、学校の授業や家庭では十分に体験できないことを教室での活動に期待している。そうした意味で、放課後子ども教室は子どもたちに、体験をとおした学びの機会や、大人も含めた異年齢の人々との交流の機会を提供していると言える。

○ 調査2：保護者対象

1 放課後子ども教室に子どもを参加させて変容は見られましたか。



2 放課後子ども教室に子どもを参加させて、あなた自身に変容はありましたか。



3 教室の運営について

《成果》

① 子どもの様子、変化等

- ・毎日学習のことや外遊びなど面倒を見て頂き、大変ありがたく思っております。おかげさまでのびのびと楽しい充実した時間を過ごさせている様です。今後もよろしくおねがい致します。
- ・いつも先生方にはよく子どもを見て頂いて、感謝しております。子ども教室は楽しみに行っているのありがたいです。
- ・子どもが放課後子ども教室を楽しんでいる様子で、親としても嬉しく思いますし、とても安心しています。
- ・参加させていただいてありがとうございます。子供たちだけで参加させることに始めは大丈夫か心配でしたが、楽しくやれていてとてもありがたく思っています。
- ・いつも大変お世話になっています。子供がとても楽しく参加させていただいています。これからもよろしく願いいたします。
- ・いつもありがとうございます。子供がとても楽しみにしています。
- ・いろいろ工夫して遊ぶようになった。私より昔の遊びを知っている。
- ・参加する回数が増えるたび、子どもが楽しそうにしています。新しいお友達ができた！と喜んでいる子どもを見るのはうれしいです。
- ・明るくなった。
- ・地域のボランティアの方に遊んでもらったり叱ってもらったりとても貴重な経験をさせていただいていると思っています。子どもたちも学年を超えてふれ合ったり教えたり教えられる時にはけんかをしたり泣いたり笑ったりと人間関係を学んで深めていけたらいいなと思います。
- ・何よりも子どもたちは楽しんで参加しています。ボランティアの方々のお力があるこそだと思っています。とても感謝しています。
- ・なかなか帰宅してから遊ぶ場所・機会がないため、学校で安心して遊ばせることができ助かっている。

- ・笑顔で私のところに来て「今日は〇〇した」など感想や話を聞くと嬉しくなる。
- ・放課後に普段遊べない友人と遊ぶことができるのでとても助かっている。
- ・いつも子どもが楽しみにしている。ありがたい。
- ・いつも子どもが大変お世話になっている。とても楽しみにしていて、活動に感謝している。ありがたい。
- ・教えてもらった遊びにとっても興味を持ち、毎週の活動を子どもが楽しみにしているので、参加させて本当によかったと思う。
- ・子ども達もすごく楽しみにしている。お迎えに行くときにここにこしといろいろなことを話してくれる。
- ・お世話になっています。とても子どもたちに優しく声をかけて遊んでくれて感謝しています。子どもたちも楽しそうです。
- ・みなさんが心から子どもに接していただき、毎週すごく楽しそうでした。同じ年の男の子が何人か入ってきてほしいと思いました。子どもにとってすごくよい時間だと思いました。
- ・小さい子も一緒に参加させてもらえてうれしいです。

② 活動内容等

- ・盛りだくさんの内容で大変有意義に過ごせました。いろいろご尽力いただき感謝しています。
- ・地元の自然の中を歩く、そんな当たり前の中でたくさんの驚きをプレゼントしてくれて親子で楽しんでいます。
- ・子供のお菓子作りに美味しいものが食べられて良かったです。
- ・子どもたちがいろいろな活動を安全に楽しくおり、ありがたいです。
- ・多数集まらないとできない遊びもあるので、普段とはちがうこともできて子ども達のためになっていると思う。
- ・昔からある竹馬や竹で作った水鉄砲、シロツメクサでの花での首飾り作りなど教えたくても家ではなかなか教えることができなかった遊びを教えてもらい感謝している。今後も伝統的な遊びを教えてもらえると嬉しい。
- ・学校内で安心してお願いできるので、ゲーム以外で体を使って遊ばせていただき、とてもありがたいです。
- ・娘は体を動かすのが得意なので、特にバドミントンを喜んでやっています。チームを作って対戦したり、他にも卓球等にもチャレンジさせてもらえたらと思います。
- ・週1の教室を毎週子どもは楽しみにしています。家では、教えてあげられない遊び（編み物、リリアン）などを楽しくやっている姿を見て感動しました。マフラーが出来上がり学校にしていっています。

③ 安全管理員、学習アドバイザー、地域ボランティア等

- ・感謝の一言です。
- ・先生方がとても親切で大変助かっています。安心してお願いできています。
- ・とても良くして頂いていると思います。
- ・子供たちの安全も考え親切にいろいろなことを教えてくださってありがとうございます。
- ・いつも丁寧に接していただきありがとうございます
- ・いつもお世話になりありがとうございます。言うことが聞けなかったり、ご迷惑をおかけしているところですが、しっかりとご指導いただけて感謝しております。
- ・週2回も毎回遊んだりいろいろ指導してくださりありがたく思っております。子どもも教室に行く日を楽しみにしております。宿題なども見てくださっているようで感謝です。
- ・サッカーをしていたときぶつかったようだが、側に管理員の方がいてお世話いただきありがたかった。
- ・ボランティアの方々には大変お世話になっていつも感謝している。子ども達が毎回楽しみにしている。お迎えの時一言御礼を言う程度で、何か感謝の気持ちをきちんと伝えなければいけないと思っている。
- ・大人が子どもと一緒に一生懸命遊ぶ姿が素晴らしいと思います。

④ その他

- ・特に運営で問題はないと思います。ただ他の学校には子ども教室はないので、これからもずっと続けてほしいです。
- ・ボランティアの方々にはとても感謝しています。優しく厳しく子どもたちに接していただき子育てのお手伝いをしていただいているように思っています。このような教室がどんどん広がるといいと思います。
- ・いろいろ大変なことがあると思いますがこれからも続けて欲しいと思います。

〈課題・要望等〉

① 活動内容等

- ・遊びの中で得意なものが見つけれられるような行事があると、とても良いと思います。
- ・普段は習い事で忙しいのでふれあいひろばでは思い切って体を使った遊びをさせてもらえると嬉しい。
- ・昔の遊びをもっと教えてほしい。ドングリのこまで楽しく遊んでいたの。
- ・バラバラで遊ぶのではなく、時々全員でカルタ取り大会やトランプなど集団遊びができるといいかな、と思いました。

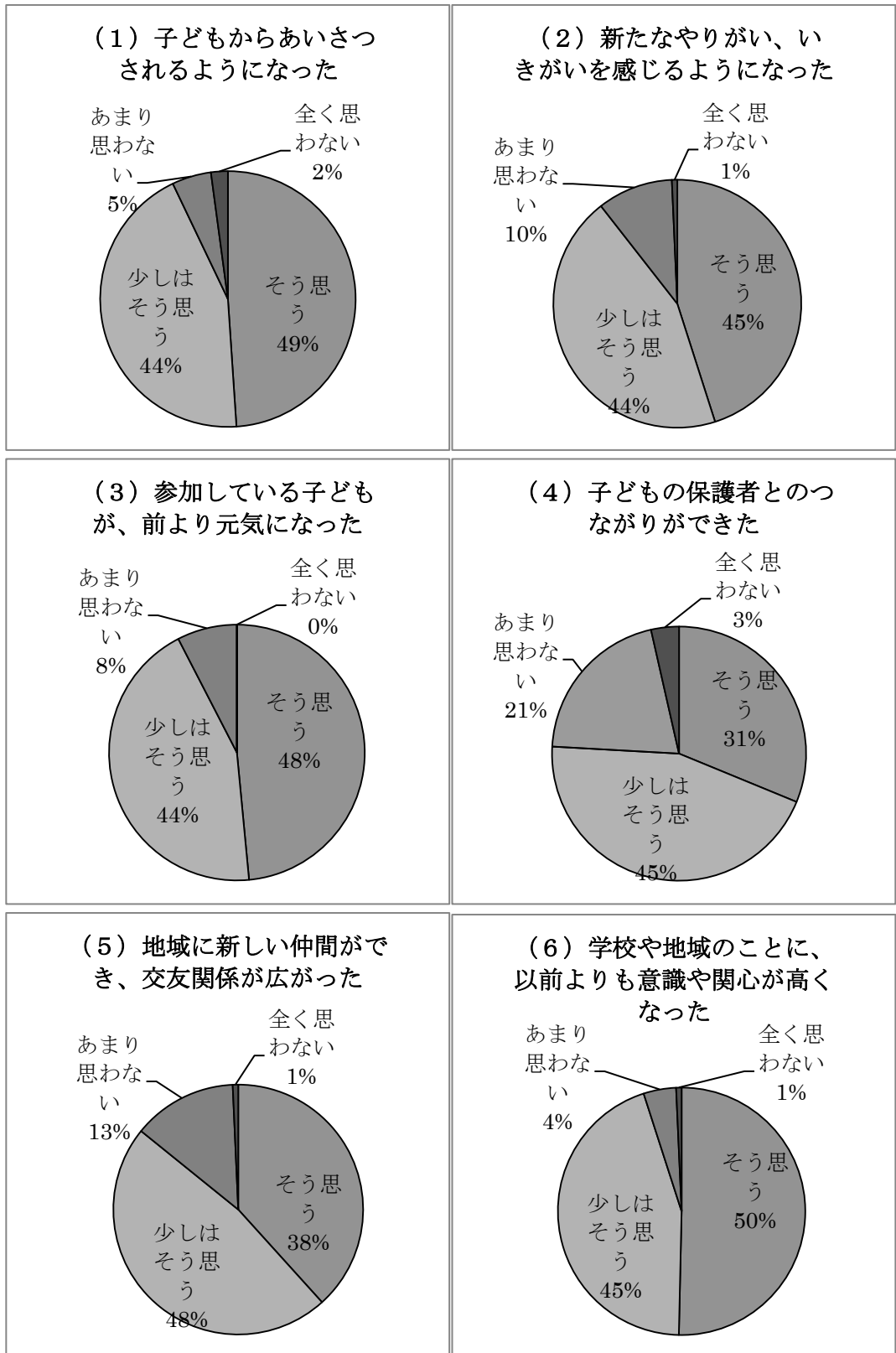
② 運営等

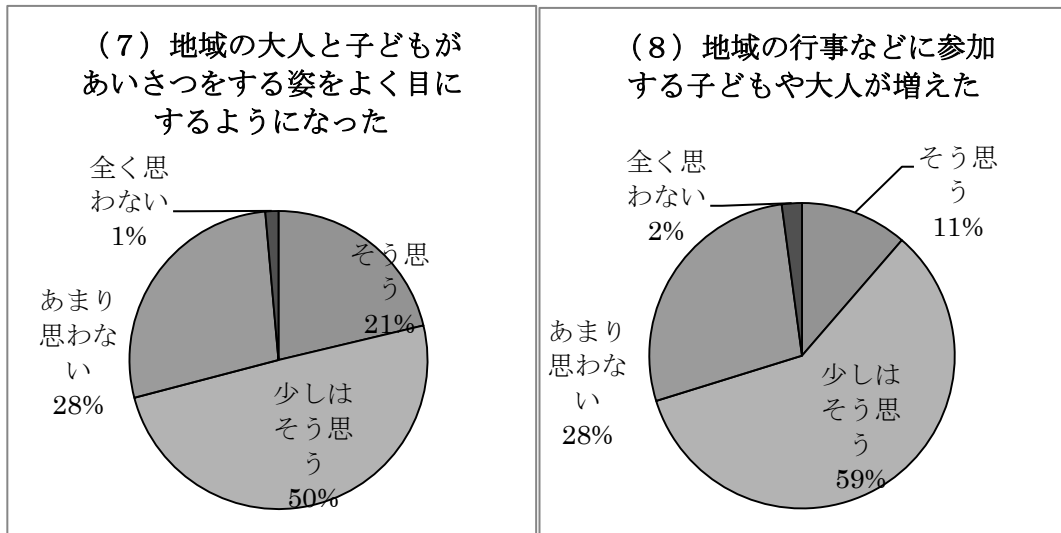
- ・翌日の予定の用紙をもう少し早く頂けるとありがたいです。
- ・仕事の都合上、なるべく早く帰りたいのはやまやまですが、急いでも多少帰りが遅くなりますが、なるべく早く迎えに来てくださいと言われるのはちょっと難しいかなと思いました。人数が少ないのは仕方ないですが。
- ・子どもがとても楽しく通っています。それが一番嬉しいことです。夏、とても暑かったり、冬の寒さが厳しかったり、もう少し環境がよくなればいいかなと思います。夕方、寒い日が多くなってきたのでストーブなどを早くつけて欲しい。
- ・低学年と高学年に子どもがいる人は二か所のお迎えになってしまうので、可能であれば高学年に兄弟がいる人は低学年でも教室で預かって頂けるとありがたいです。
- ・高学年になるにつれ参加者が少なくなっているような気がします。
- ・日程の発表が実施日に近いので予定が入っていて参加できないという話も聞くので改善していただけたらと思います。
- ・週3回ぐらいあると助かります。
- ・行事を行うときは事前にお金がかかるか連絡がほしい。
- ・年に2回ほど、保護者も出入りする機会があっても楽しいかもしれない。強制でなく、親と子どもと地域の方とのふれあいがとても大切な気がする。ちがう学年のお友達とふれあいたい気がする。情報も欲しいし絆も欲しい。
- ・参加されるお子さんが増えるように、曜日や時間帯などお考えいただくとよいかもしれません。

③ その他

- ・普段仲良くしているお友達が学童へ行ってしまっているので、あまり遊ぶ友達がなくてつまらないようです。
- ・募集人数を増やして欲しい。
- ・できれば希望者全員が参加できるようお力添えいただければと思います。(行政の方へ)
- ・みんないつも特定の子と遊んでいて、友達になかなかないそうだ。地域の方が間をとりもち、みんなで遊んだりするきっかけを作してほしい。
- ・子どもは遊ぶことを楽しみにしているが、その後学童に戻り宿題が終わらない。宿題をする時間がなくなり、夜家で親(私)から怒られている。
- ・親がボランティアに参加できない状態での子どもの参加は無理があるのでしょうか、心配です。仕事を辞めてまでボランティアに参加しないといけないのかと思っています。
- ・新しい指導者の方は本当によく遊んでくださり、感じもよく感謝しています。反対に、前からいる方は、大人同士でおしゃべりや話をしているだけで、あいさつをしても返事をしないことが多いのが気になります。

- 安全管理員、学習アドバイザー対象
 1 放課後子ども教室に参加してどうでしたか。





2 教室の運営について

《子どもの様子と子どもへの関わり方》

- ・言葉遣いで悪いと感じた時は「それは悪い言葉だよ」と伝えます。また、仲間はずれの子供が出ないように気を配っています。※忘れ物がないように指導していますが時間がかかりそうです。
- ・子供は元気に参加してくれて元気を与えてくれます。
- ・子供の成長がすぐ分かり接するのがとても楽しみです。
- ・毎日かかわっているわけではないので、子どもたちの成長変化を如実に感じます。
- ・学習面では個々に対応すれば良いと思いますが、その他の活動においては静と動（子どもの性格上）の区分けをして指導対応してみたいかと思っております。向き不向きを考慮すると一律に答えるより成果成長が見えると思うのです。ただ、子ども教室が求められている本質はどこにあるのか私自身つかめていませんので悪しからず考慮いただければ幸いです。また、結果を早くに求められないのも教えるの難しいところでしょうか。
- ・自分（子ども達）が遊びに使った道具は自分できちんと片付けることを徹底すること。スタッフは余計な手だてはしないこと（中には、やってあげるといふ人がいるが見守り程度にとどめては）
- ・子どもたちの始まりと終わりの集合時に整列の仕方が悪い。まだ遊び時間の延長に見える。ボランティアの方が注意するが余り効果がない。もう少し強く言ってもいいのではと思う。また、言葉遣いの悪い子がいる。
- ・子ども達に年長者に対しての礼儀作法を教える必要あり。遊びに使った道具を責任もって片付けさせるよう指導を要す。良い行いには積極的に褒めること。
- ・1年に1回で良いから、子ども達とボランティアの方々のふれあっているところ、見守りしているところを見て欲しいと思う。自分の子どもがどこにいるかよく見て欲しい。
- ・子ども達の態度は開放感がありすぎ、けじめがなさすぎる。相手によって態度が変わることも多々ある。保護者の無関心さが気になる。
- ・子ども達の上下のつながりはまだまだ広がらない。保護者同士の地域の連帯が少ない。
- ・児童の参加態度に疑問を感じる。一つのことに熱中してやろうとしない。なんとかしないと
- ・子どものしかり方等まだよくわからない。
- ・住居が学区外なので、実際には父母、子ども達と接する機会が少なく生活の様子などはよくわからない
- ・あいさつ、大人の話をよく聞く、友達同士仲良く遊ぶこれらの徹底を。
- ・子どもたちが使用して遊ぶ道具や材料をたくさん揃えていただきましてありがとうございます。遊びたい物がある時、次に貸してほしいと伝えたり、待っていられたり、心の成長が見られたりして、嬉しくなります。部材の補充は必要な物もありますが、現状維持で大切に使い、遊びたいと思います。
- ・比較的田舎の学校なので、先生、親、子どもの間に暖かみがあって、暖かみが感じられた子どもたちが大きくなっても、多少悪いことに染まっても、この時の気持ちを忘れないで持っていてほしいと思った。

《活動内容》

- ・もっと地域の学習力を生かしたプログラムが組めれば良いと思います。
- ・地域ボランティアの方々の協力を得て、楽しい行事を組み入れられるといいと思います。
- ・子供たちが興味を持つテーマ（手作りクラフト・日本の文化など）を考え、バリエーションを豊富にする。

- ・物作りやお茶会等の体験の回数を増やした方が良いと思う。
- ・場所別に何をやるか決めて子どもに選んでもらうことも必要だと思う。個々の遊びだと1～2人のグループで走り回っているの、時々その様な企画も良いと思う。
- ・子どもさんたちと話し合いの時間を年1～2回位ありましたらもっと楽しくなるのではないかと考えております。
- ・活動が多種にわたってきたので、地域の方の協力や支援の方の協力など大切になっています。時間をとって話し合うことが必要ですが、結構今年はやれているような気がします。

《運営》

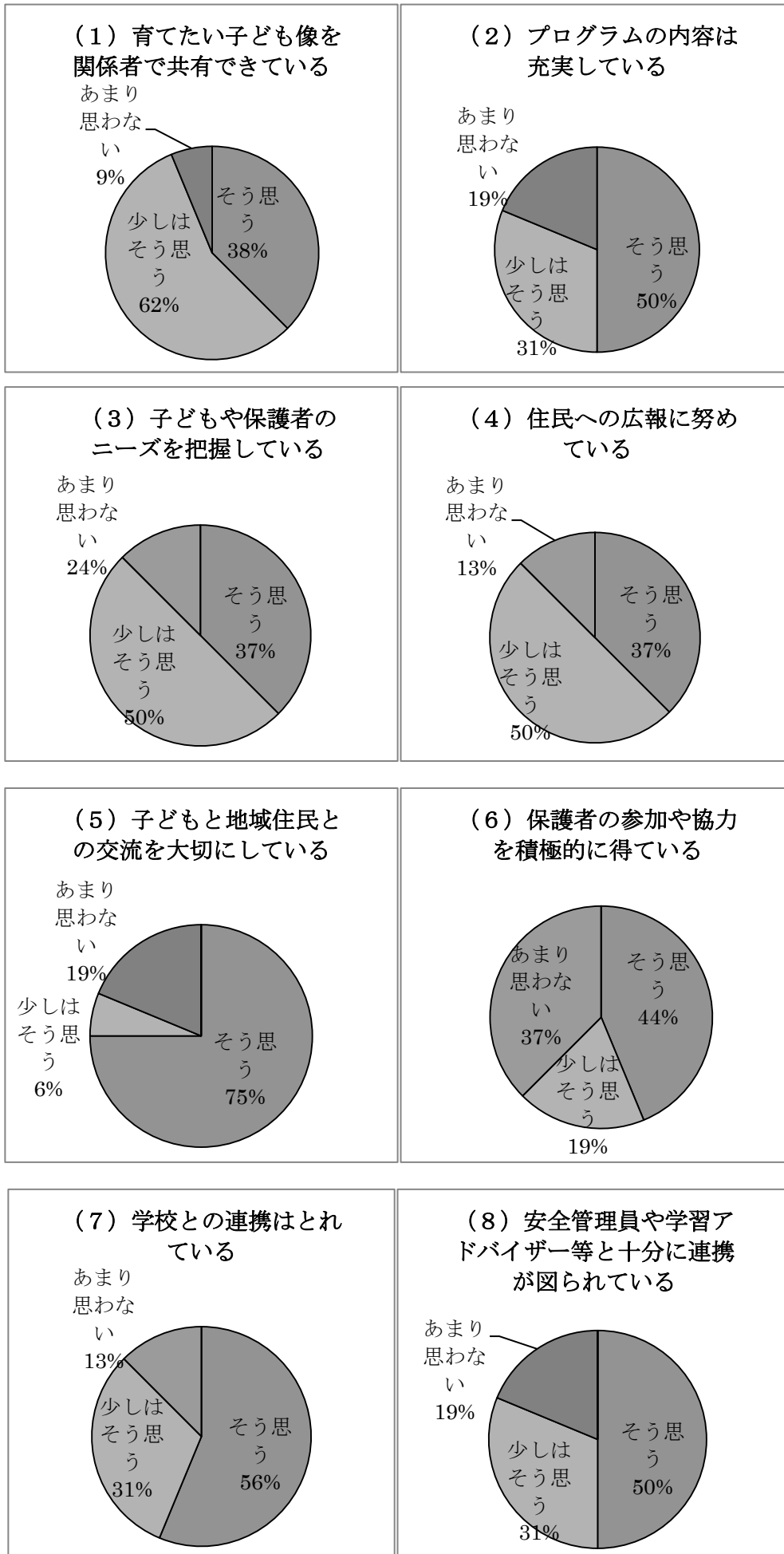
- ・子ども一人一人について、学校側と今以上に連絡を取り合う様になると、子どもの様子や変化が分かり、教室の運営に役立つと思いがけたいと思います。
- ・土曜日もお願ひしたい方もいらっしゃるので実現させてあげてもよいと思う。
- ・子ども教室と学校側のコミュニケーションがあまりとれないので、特に一年生の相談をした時など、子どもの様子を聞くようにしている。
- ・運営の場所が小学校の図書館を利用しており、水回りの関係で不備が多い。衛生面を考えると場所の検討も必要です。
- ・アドバイザーや安全管理員にならなくても自由に参加でき子供達と楽しめてつながりを持てるようなやり方が望まれると思います。
- ・現在組織はリーダー1人です。1人での運営は負担がかかりすぎると思いますので、副委員長をおいてみてはどうでしょう。
- ・たくさんの人にサポーター、ボランティアとして参加して活動して欲しいと思います。
- ・この事業は5年目になります。1年生が今や5年生になっている。限られた放課後の時間で子ども達との交流は限界があるが、私たちスタッフは子ども達に信頼される関係を築き、自由な遊びを提供し、家庭の中で話題になったら良いと思っている。また、事務方の担当者が大変熱心に指導してくれることが何よりだ。
- ・大学生のサポーターが今年度2人になり、児童と一緒に元気いっぱい遊んでくれるので、今後もサポーターを続けてくれるようにしたい。
- ・「学校という枠から解放し子ども達の自由意思を尊重し、従来の学習機会を継続する」のか「問題点収集し学習機会の工夫・改善しステップアップを重ねる」のか決めて欲しい。ボランティア諸氏が、問題意識を持って参画しているか否かにもよるが、少なくとも「子ども達・ボランティア双方に充足感が得られる学習機会とは」について繰り返し議論する場が欲しい。
- ・サポーターの共通理解を図るため、年度初めと年度末の会議だけでなく、ボランティア室で定期的に（例えば、月1回程度）会議を開きたい。
- ・用具などはあまり増やさなくてよいと思う。1年生の教室を使わせていただいているし、1年生の担任の先生と一度みんなで話し合いを持つ場を作ってはどうか。
- ・活動支援者をもっと増やした方がよいと思います。もしかすると参加したくても遠慮している方もいらっしゃるかも。気軽に参加していただけるように工夫していただきたいと思います。

《その他》

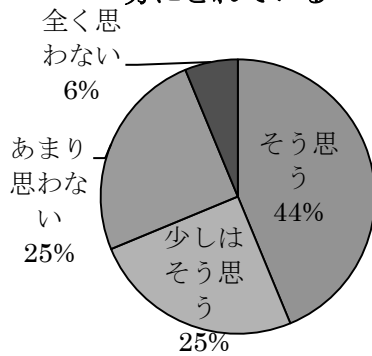
- ・おやつが買えるスーパーを増やして欲しい
- ・大人(保護者)が日頃の生活が忙しいため、子どもの生活に関心がないように感じられる。
- ・このような教室に参加すべき理由などをもっと明確にし小学校などに呼びかけ様々な小学校の子供たちが交流できたらと思います。
- ・親の都合で子供が参加してくる。
- ・参加人数の確保。もう少し子どもたちに来てほしい
- ・自由に現金で買い物ができるのもっと安い金額で材料を購入しもっとたくさんの体験を子どもたちにさせてあげられるのに。
- ・月に2回くらいできたらいいと思います。
- ・支援者が年々減少しているのが気になる。
- ・学童と勘違いしている人がいるのが気になる。
- ・予算の充実をお願いしたい。
- ・子どもにもっと思いやり等をもてば、子どもの参加が多くなると思う（管理員全員で）。

○ 調査4：担当者、コーディネーター対象

1 放課後子ども教室について

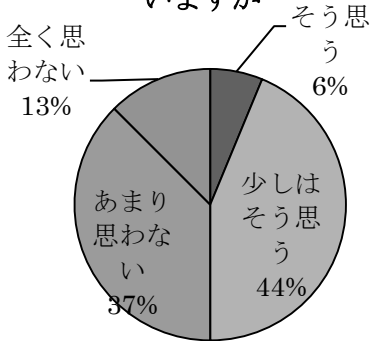


(9) 安全に関する情報交換の場（学校等との）は十分にとれている

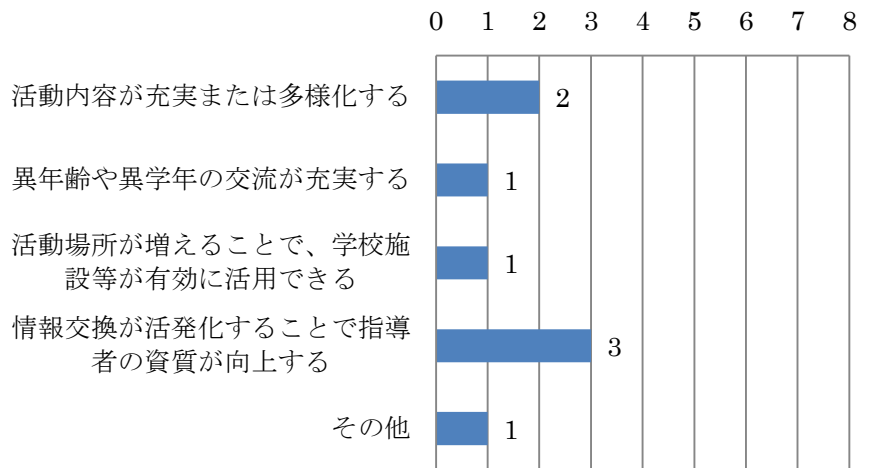


2 学童保育・児童クラブとの連携について

(1) 学童保育・児童クラブとの連携はうまくとれていますか



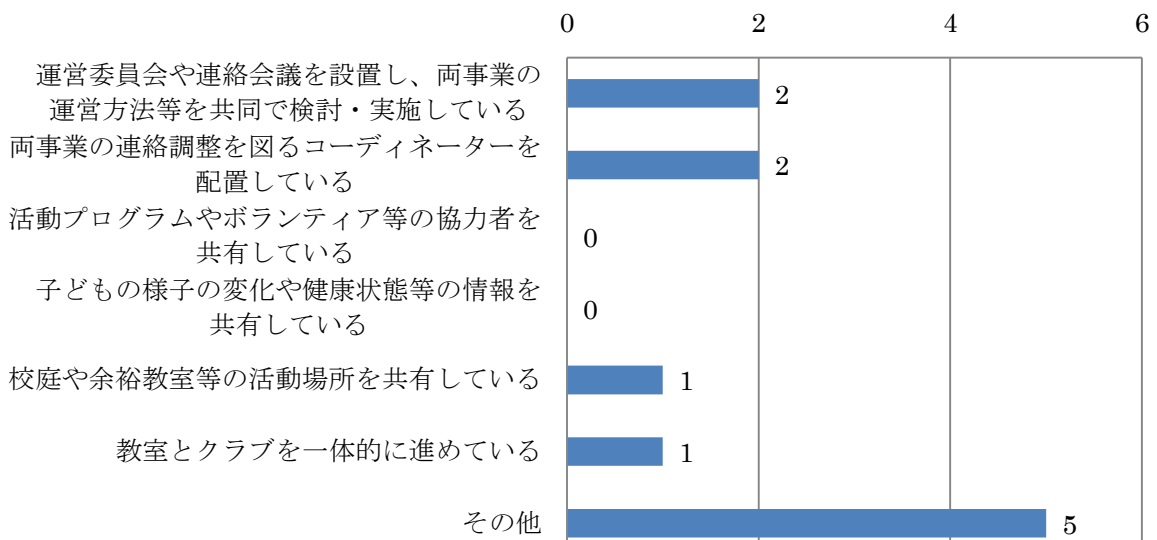
(3) 連携のメリットは何ですか (人)



その他（学童保育と連携することによって子供たちが開放的になり様々な体験活動に参加できる。また、親との連絡もスムーズにできる）

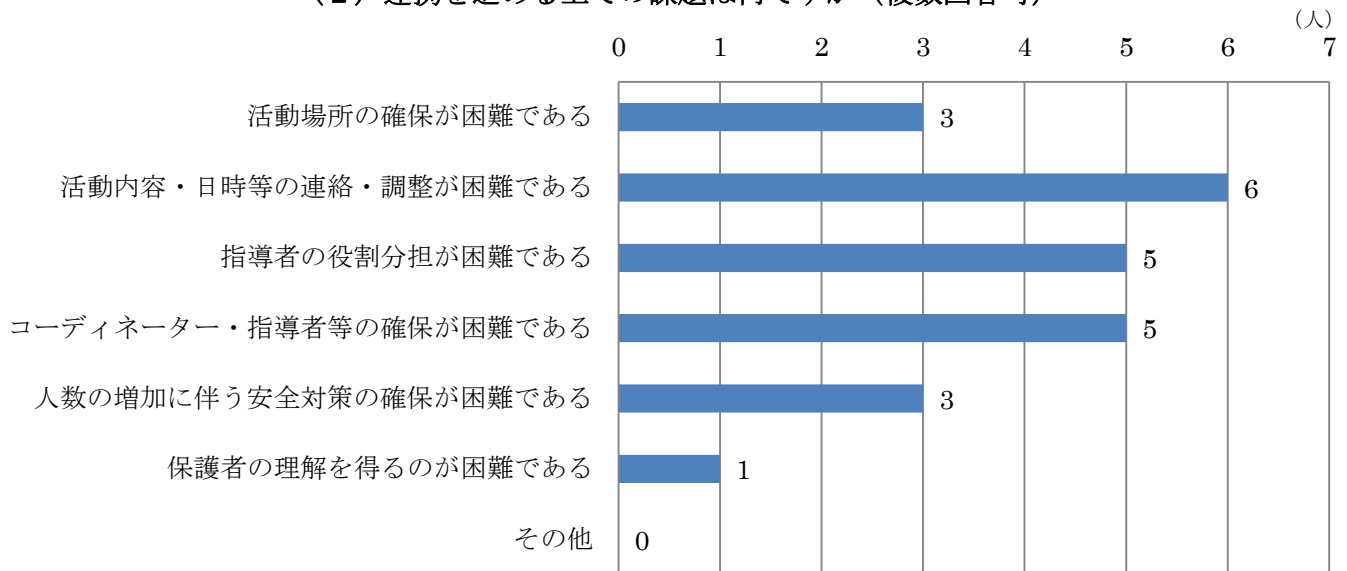
(2) どのような連携を図っていますか

(人)



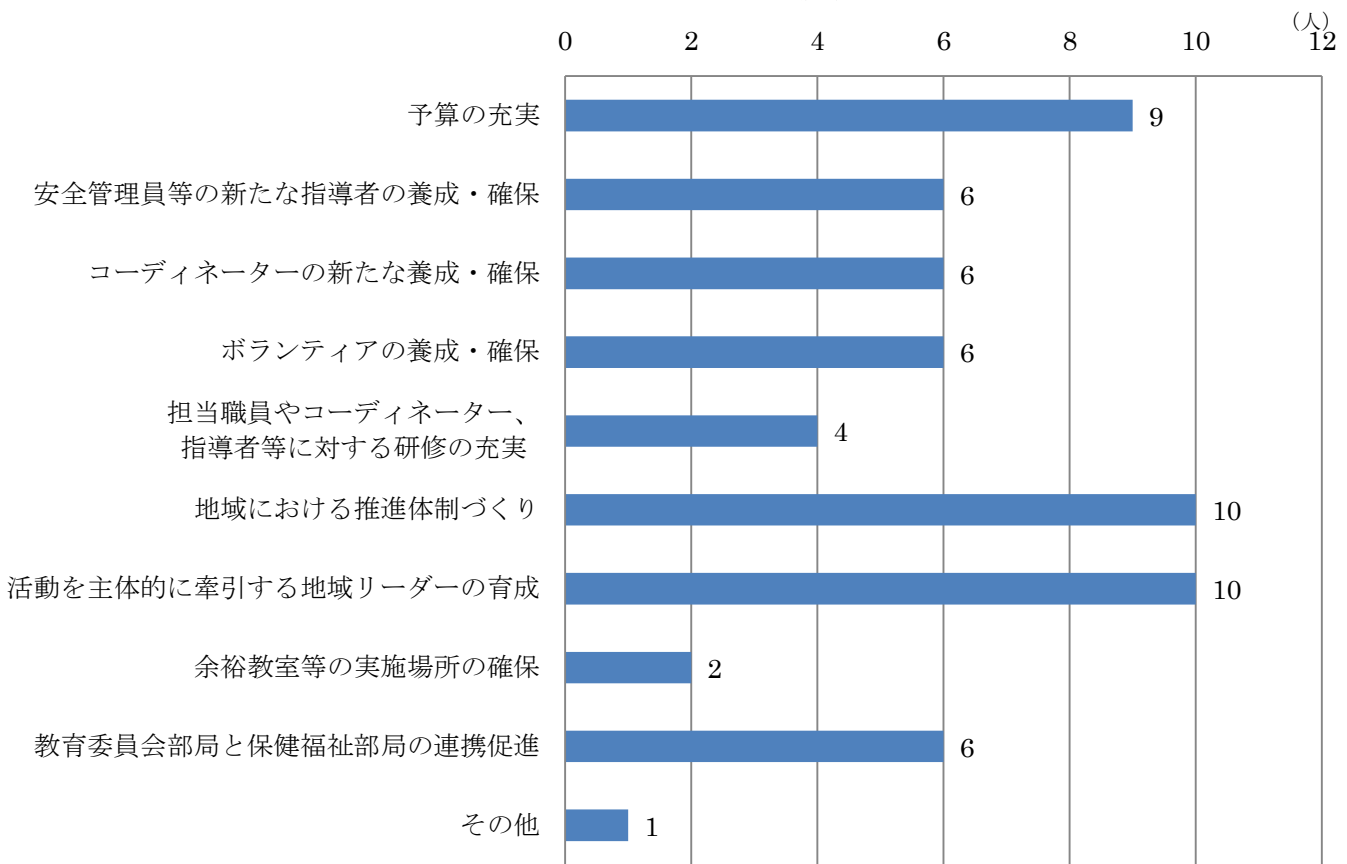
その他（行事参加を促し連絡をくれる）

(2) 連携を進める上での課題は何ですか (複数回答可)



3 放課後子どもプランを推進する上で必要なこと

今後、放課後子どもプランの推進に向けて必要だと思うことは何ですか (複数回答可)



4 教室の運営について

- ・安全管理委員と学習アドバイザーの謝金単価の上限が異なることが、ボランティアに説明が難しいです。安全管理員の役割が学習アドバイザーよりも軽いと思われてしまうのではないかと思います。(新規立ち上げを考える中で、この説明はしづらいです)
- ・放課後ということで、保護者も子ども達も単なる遊び場所と理解し参加しているように見受けられる。「子ども教室」と称されているのだから目的をはっきり伝え、保護者も目的意識を持って参加させて欲しい。
- ・学校と子どもたちはまったく別ととらえているため、普段の学校生活では当たり前に行っているようなことが、教室に来ると、とたんにできなくなる。そういった際にどこまで指導すべきなのか判断に迷う部分が多い。
- ・教室としてのあり方に疑問の声が出ている。子ども達の自由な遊びをメインに考えるのか、それとも大人がテーマや企画を提案すべきなのか、どちらにもメリットがありデメリットがあるため、現在試行錯誤している。そこに携わる人々のニーズを最大限満たすべく努力はしているがなかなか難しいのが本音である。
- ・危険なことに気付き、注意することができるよう、ボランティアさんにもお願いしたい。

教室における活動のけん引役を担う地域リーダーの育成が最も求められていることがわかった。また、教室の運営に携わる方々の間での、運営方針や活動方針に関する共通理解が重要であることも再確認できた。研修等をとおして、教室と学童保育、学校との連携や、関係者間での情報交換の場づくり等を進めていく必要がある。

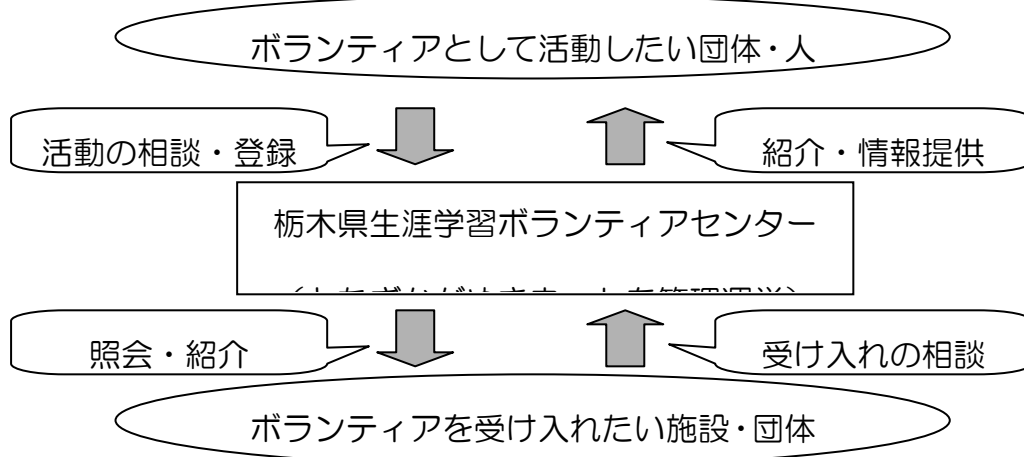
【栃木県生涯学習ボランティアセンターについて】

ボランティアの登録・紹介は

栃木県生涯学習ボランティアセンター

へお問い合わせください。

栃木県生涯学習ボランティアセンターでは、こんなことをしています！



生涯学習ボランティアセンターは

『**体験活動ボランティア活動支援センター**』を

併設しています！



とちぎかがやきネットからも検索できます！

(栃木県生涯学習ボランティア活動支援情報提供システム)

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/kagayaki/>

からどうぞ！

<問い合わせ先>

栃木県生涯学習ボランティアセンター

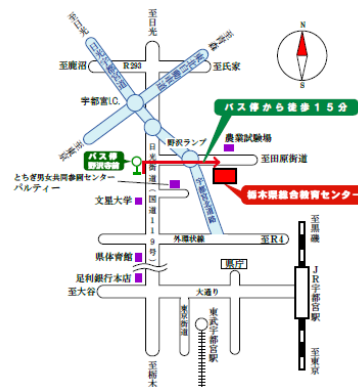
〒320-0002

栃木県宇都宮市瓦谷町 1070 番地

(栃木県総合教育センター内)

TEL : 028-665-7207

FAX : 028-665-7219



アンケートに御協力ください

◎「地域で広がる子どもの未来②～平成24年度とちぎ放課後子ども教室推進事業実践事例集～」をご覧いただきありがとうございます。今後、皆様に有意義な情報をお届けできるよう、本事例集や、「放課後子ども教室」・「地域における子どもの居場所」に関するご意見・ご感想をお聞かせください。皆様の声をお待ちしております。

1 差しつかえなければ、性別、年代、所属をお答えください。

*当てはまる記号に○を付けてください。

①性別 ア 男 イ 女

②年代 ア 20代以下 イ 30代 ウ 40代 エ 50代 オ 60代以上

③所属 ア コーディネーター イ 安全管理員 ウ 学習アドバイザー エ 指導員
オ 教員 カ 地域ボランティア キ 県・市町担当者 ク 保護者
ケ その他（ ）

2 本事例集の感想をお聞かせください。

3 「放課後子ども教室」や「地域における子どもの居場所」について、今後、知りたい情報等がありましたら、お聞かせください。

4 その他、ご意見、ご感想をお聞かせください。

☆送付先

お手数をおかけいたしますが、下記の送付先までFAXまたはメールで送付ください。

栃木県教育委員会事務局生涯学習課 ふれあい学習担当

FAX 028-623-3406 E-mail:syougai-gakusyuu@pref.tochigi.lg.jp

*アンケート用紙の電子データは、栃木県のホームページからダウンロードできます。

地域で広がる子どもの未来②

平成24年度 とちぎ放課後子ども教室推進事業 実践事例集

平成25年3月発行

編集・発行 栃木県教育委員会

〒320-8501

栃木県宇都宮市塙田1丁目1番20号

TEL 028-623-3404

FAX 028-623-3406

☆この事例集は栃木県のホームページからも御覧いただけます

<http://www3.pref.tochigi.lg.jp/m06/houkagojirei.html>

栃木県庁トップページ → 教育・文化 → 生涯学習推進
→ ふれあい学習 → 放課後子ども教室推進事業